

名古屋芸術大学

後援会報

第51号 2011年9月30日発行

## CONTENTS

---

1	目次
2	ごあいさつ
3	後援会定期総会報告 前年度事業報告・今年度事業計画
4	新役員・委員一覧
5	2010年度 後援会決算報告
7	2011年度 後援会予算書
9	2011年度 入学式 大学へのお問合せ一覧
10	名古屋芸術大学近況報告
18	学生部報告 2011年度学生数
19	2010年度 授業評価アンケート報告
20	年間行事予定表
23	音楽学部主催による演奏会のご案内
24	就職セミナーのご紹介
27	各学部進路状況
29	先輩の活躍
31	ブライトン大学ディグリーショー参加報告
32	国際交流紹介
33	親の想い
34	子の想い
35	クラブ・同好会紹介
37	トピックス ピックアップ
41	アート&デザインセンター展覧会スケジュール
42	後援会学費貸付事業のご紹介
43	名古屋芸術大学後援会会則
44	学校法人名古屋自由学院決算報告
45	大学運営組織図
46	木祖セミナーハウスのご紹介 編集後記

## ごあいさつ



後援会長  
佐藤俊明

名古屋芸術大学に通う学生達のご父兄の皆様、後援会を代表し、皆様の日頃からのご支援に心より感謝申し上げます。

本年度は日本に暮らす私達にとって、特別の意味を持つ年となりました。皆様も突然の大災害を通して考えさせられることがたくさんおありになったのではないのでしょうか。平穏な生活の中で突然起きた災害は、全ての歯車の噛み合わせをおかしくしていきます。そして、便利が当たり前の生活が、突然不足と不便な状態に変わってしまうと、もう一度生き方の見直しを迫られざるをえなくなってしまいます。「取り合えば足りず、分け合えば足りる。」そんな言葉を被災地現地で暮らす方たちやボランティアの方達を見ながら感じました。不可避的に不便さを強いられる中にありながらも、東北の方たちは、分け合うこと、助け合うこと、思いやること、それらの人間本性の美しい心を私達に見せてくださったように思います。それは物質的価値以上に精神的価値も大切に



学長  
竹本義明

今年は、3月11日に東日本大震災が起きて、地震、津波に加え原子力発電所の事故が日本の社会全体に大きな影響を与えています。

大学にとっては、年度末ということもあり、東北、関東の大学で卒業式や入学式を延期する大学がありました。幸いにも、本学在学生の関係では、被害に遇われた学生は数名で、それも小さな被害に止まり安心をしています。全国の各大学では、被災者のため募金活動に積極的に取り組み、春の連休頃から学生ボランティアに出かけるなど、実際に行動で被災地支援を行うところが出てきました。

してきた日本人の美意識が危機の中でもしっかりと働いていることを教えてくれました。

芸術と文化は利便性を追求する実生活の中ではとかく優先順位として低く見られがちですが、逆に試練の時にはこの心の豊かさが人の心を癒し、未来への希望を生み出していくように思います。今、静かに日本人の価値観が変化していく中で、美術と音楽、そしてそのような芸術を基とした情操豊かな教育の重要性が増してきています。そんな洗練された教育を受けて社会に出て行く我校の学生達には社会の期待がますます大きくなっていくのではないのでしょうか。

名古屋芸術大学は歴史と伝統のある素晴らしい大学です。教員の方達と学生との気持の距離感もとても近い関係が築かれているように感じています。子供の入学以来、様々な機会に学長をはじめ教員の方たちと親しく交流させて頂き思うことは、本学が学生一人一人をととても大切にしていることです。それは大学側の職員の方達の意識と努力に加え、大学設立から今日に至るまで建学の志が変わらず貫かれてきた結果なのだろうと思います。どんなに時代が進み、社会システムが高度化したとしても、やはり教育は生身の人と人の交わりが基本です。特に文化芸術は技術も重要ですが、それを目指す人間自身の精神の質が最も重要かと思えます。

後援会はこれからも皆様と共に、本学の発展と健全な教育環境の為に支援の努力を重ねていきます。今後とも皆様のご理解ご協力を宜しくお願い致します。

文部科学省からの通達では、東北地方の被災大学生の受け入れの申し入れなどがあり、被害学生への支援策として、経済的援助及び単位認定のための学修時間の弾力的運用を求めています。そして学生による震災ボランティアの派遣への要望もあります。本学としては、組織的に支援活動を実施するまでに至っていませんが、学生が個人あるいはグループで活動する場合、大学として支援することを確認しています。

また、昨年は大学卒業生の就職率について、過去最大の落ち込みという厳しい状況となりました。人間発達学部の完成年度を迎えた初めての卒業生は、教員や保育士に予想以上の就職を実現しました。音楽学部、美術学部、そして、デザイン学部では全体として例年と比較し、数パーセントの落ち込みに止まりました。

本学は、芸術系大学として感性と創造力に富んだ人材、並びに人間発達の創造発展に寄与する人材の育成を目標としています。最近では地域との連携による社会貢献にも力を入れています。実践的な活動により、あらゆる場面で活躍できる人材の育成を目指します。後援会の皆様には、引き続き教育環境の充実にご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 2011年度 名古屋芸術大学後援会 定期総会

2011年5月22日(日) 13時より、東キャンパス1号館7階アッセンブリーホールにて、「2011年度名古屋芸術大学後援会定期総会」が開催されました。

### 2010年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月日	事業内容	開催場所
5月23日	2010年度後援会定期総会事前打合せ 2010年度後援会定期総会	西キャンパス
6月2日 ～7日	イギリス プライトン大学ディグリーショー 後援会副会長(会長代理)他大学関係者参加	イギリス
6月8日	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月22日	後援会より補助金一括交付	
6月26日	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月17日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス
9月30日	後援会報第49号発行	
10月17日 ～18日	後援会研修旅行 1泊2日	
10月30日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月11日	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月15日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月26日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
3月11日	プライトン大学賞表彰式(会長)	
3月23日	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	中京大学 文化市民会館
3月23日	卒業記念パーティー出席(会長・役員)	
3月31日	後援会報第50号発行	
4月4日	入学式参列 (2010年度会長・副会長《総務委員長》)	西キャンパス
4月13日	2010年度会計監査(2010年度監査2名)	西キャンパス
4月16日	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業を行いました。	

### 2011年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月日	事業内容	開催場所
5月22日	2011年度後援会定期総会事前打合せ 2011年度後援会定期総会	東キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替 前期分	
6月上旬	イギリス プライトン大学ディグリーショー 後援会会長他大学関係者参加	イギリス
6月上旬	後援会より補助金一括交付	
6月25日	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月16日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	東キャンパス
9月下旬	後援会報第51号発行	
10月15日 ～16日	後援会研修旅行 1泊2日	
10月29日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替 後期分	
1月14日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月18日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	東キャンパス
3月上旬	プライトン大学賞表彰式(会長)	
3月21日	卒業式参列(会長・副会長《総務委員長》)	中京大学 文化市民会館
3月21日	卒業記念パーティー出席(会長・役員)	
3月31日	後援会報第52号発行	
4月上旬	入学式参列 (2011年度会長・副会長《総務委員長》)	西キャンパス
4月中旬	2011年度会計監査(2011年度監査2名)	西キャンパス
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業を行う予定です。	



## ■2011年度 名古屋芸術大学後援会 役員・委員一覧

通番	役職名	氏名	学部
1	会長	佐藤俊明	デザイン学部
2	副会長(総務委員長)	山下智春	人間発達学部
3	副会長(事業委員長)	佐藤佳子	音楽学部
4	副会長(広報委員長)	臼井貴子	音楽学部
5	副会長(会計)	水野和美	美術学部
6	会計監査	五島和江	人間発達学部
7	会計監査	萩達也	音楽学部
8	書記	富田知彦	音楽学部
9	書記	月森為之	音楽学部
10	会計	古澤悦子	美術学部
11	監事	澤達彦	美術学部
12	総務副委員長	片山みゆき	美術学部
13	総務副委員長	多田聡子	美術学部
14	総務委員	森嶋修	美術学部
15	総務委員	木村充代	人間発達学部

通番	役職名	氏名	学部
16	総務委員	北川広子	デザイン学部
17	総務委員	小島博史	音楽学部
18	事業副委員長	森岡優子	美術学部
19	事業副委員長	内海珠美	人間発達学部
20	事業委員	加古富雄	デザイン学部
21	事業委員	真野久美子	美術学部
22	事業委員	角前成子	人間発達学部
23	事業委員	真野由夏	人間発達学部
24	広報副委員長	長尾恵利世	人間発達学部
25	広報副委員長	飯田康子	美術学部
26	広報委員	安藤孝子	美術学部
27	広報委員	今井俊	デザイン学部
28	広報委員	酒井真弓	デザイン学部
29	広報委員	土屋里美子	デザイン学部



全議題は、賛成多数で承認されました。また最後に役員を退任された方に対して、大学より感謝状が贈呈されました。長年に渡って、本当にありがとうございました。



## ■2010年度 名古屋芸術大学後援会 決算書

### 1. 一般会計

2010. 4. 12～2011. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
前年度繰越金	9,998,761	9,998,761	0	
会 費 収 入	29,000,000	28,988,000	12,000	
特別会計より組入	97,512	97,525	-13	福祉基金会計からの 資金移動
受 取 利 息	5,000	4,635	365	
手数料他収入	0	95,500	-95,500	事業協賛金
合 計	39,101,273	39,184,421	-83,148	

#### 支出の部

	予 算	決 算	差 異	備 考
通 信 費	400,000	323,550	76,450	
旅 費・交通費	300,000	222,120	77,880	
会 議 費	500,000	469,776	30,224	
事務費・用品費	200,000	208,050	-8,050	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	45,520	54,480	
渉 外 費	500,000	505,282	-5,282	チケット代等
事務職員人件費	750,000	566,244	183,756	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>2,750,000</b>	<b>2,340,542</b>	<b>409,458</b>	
芸大祭補助	3,800,000	3,800,000	0	
クラブ補助	7,800,000	7,800,000	0	
就職活動補助	5,005,890	5,003,222	2,668	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	600,000	600,000	0	
国際交流補助	1,000,000	811,546	188,454	
公開講座補助	9,628,290	8,284,370	1,343,920	
施設・設備補助	948,314	420,584	527,730	
福祉事業補助	860,685	0	860,685	
学費貸付金資金振替	2,000,000	2,000,000	0	
教員・役員研修費補助	800,000	685,956	114,044	研修費補助金
<b>(事業関係合計)</b>	<b>33,443,179</b>	<b>30,405,678</b>	<b>3,037,501</b>	
広 報 活 動	1,200,000	1,163,820	36,180	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	386,417	113,583	
広報誌手数料	50,000	0	50,000	アルバイト代
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,750,000</b>	<b>1,550,237</b>	<b>199,763</b>	
予 備 費	1,158,094	98,404	1,059,690	'06～'09の税金
次年度繰越	0	4,789,560	-4,789,560	
総 合 計	39,101,273	39,184,421	-83,148	

## 2. 特別会計決算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
1	前年度繰越金	4,036,803	4,036,803	0	
2	雑収入	0	375	-375	
3	合計	4,036,803	4,037,178	-375	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
4	特別積立金事業計画	4,036,803	4,037,178	-375	学費貸付に組入
5	次年度繰越金	0	0	0	
6	合計	4,036,803	4,037,178	-375	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
7	前年度繰越金	3,663,057	3,663,057	0	
8	一般会計より資金繰入	2,000,000	2,000,000	0	
9	特別会計より資金繰入	4,036,803	4,037,178	-375	
10	学生貸付金返済金	2,000,000	2,212,340	-212,340	
11	雑収入	10,000	1,647	8,353	
12	合計	11,709,860	11,914,222	-204,362	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
13	学生貸付金	10,000,000	3,110,525	6,889,475	
14	予備費	1,709,860	0	1,709,860	
15	次年度繰越金	0	8,803,697	-8,803,697	
16	合計	11,709,860	11,914,222	-204,362	

### (3) 福祉基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
17	前年度繰越金	97,512	97,512	0	
18	雑収入	0	13	-13	
19	合計	97,512	97,525	-13	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
20	一般会計に組入	97,512	97,525	-13	福祉事業補助へ組入
21	次年度繰越金	0	0	0	
22	合計	97,512	97,525	-13	

### (4) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
23	前年度繰越金	2,131,940	2,131,940	0	
24	雑収入	2,000	524	1,476	
25	合計	2,133,940	2,132,464	1,476	

#### 支出の部

単位：円

	科目	予算	決算	差異	備考
26	講演会、パンフレット作成	350,000	0	350,000	
27	次年度繰越金	1,783,940	2,132,464	-348,524	
28	合計	2,133,940	2,132,464	1,476	

## ■2011年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

### 1. 一般会計

2011. 4. 1～2012. 3. 31 単位：円

#### 収入の部

	2011年度 予 算	2010年度 予 算	差 異	備 考
前年度繰越金	4,789,560	9,998,761	-5,209,201	
会 費 収 入	29,000,000	29,000,000	0	
特別会計より組入	0	97,512	-97,512	
受 取 利 息	2,000	5,000	-3,000	
手数料他収入	0	0	0	任意保険手数料
<b>合 計</b>	<b>33,791,560</b>	<b>39,101,273</b>	<b>-5,309,713</b>	

#### 支出の部

	2011年度 予 算	2010年度 予 算	差 異	備 考
通 信 費	400,000	400,000	0	
旅 費・交 通 費	300,000	300,000	0	
会 議 費	500,000	500,000	0	
事務費・用品費	200,000	200,000	0	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	500,000	500,000	0	チケット代等
事務職員人件費	750,000	750,000	0	
<b>(総務関係合計)</b>	<b>2,750,000</b>	<b>2,750,000</b>	<b>0</b>	
芸 大 祭 補 助	3,800,000	3,800,000	0	
ク ラ ブ 補 助	7,800,000	7,800,000	0	
就 職 活 動 補 助	5,000,000	5,005,890	-5,890	
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学 生 自 治 会 補 助	600,000	600,000	0	
国 際 交 流 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
公 開 講 座 補 助	5,000,000	9,628,290	-4,628,290	
施 設・設 備 補 助	940,000	948,314	-8,314	
福 祉 事 業 補 助	0	860,685	-860,685	
学 費 貸 付 金 資 金 振 替	0	2,000,000	-2,000,000	
特 別 積 立 金 振 替	500,000	0	500,000	
教 員・役 員 研 修 費 補 助	800,000	800,000	0	研修費補助金
<b>(事業関係合計)</b>	<b>26,440,000</b>	<b>33,443,179</b>	<b>-7,003,179</b>	
広 報 活 動	1,200,000	1,200,000	0	広報誌・封筒(大・小)
広 報 誌 郵 送 料	500,000	500,000	0	
広 報 誌 手 数 料	50,000	50,000	0	アルバイト代
<b>(広報関係合計)</b>	<b>1,750,000</b>	<b>1,750,000</b>	<b>0</b>	
予 備 費	2,851,560	1,158,094	1,693,466	
<b>総 合 計</b>	<b>33,791,560</b>	<b>39,101,273</b>	<b>-5,309,713</b>	

## 2. 特別会計予算書

### (1) 特別積立金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	0	4,036,803	-4,036,803	
2	一般会計より資金繰入	500,000	0	500,000	
3	雑 収 入	100	0	100	
4	合 計	500,100	4,036,803	-3,536,703	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
5	特別積立金事業計画	0	4,036,803	-4,036,803	
6	事業計画積立金	500,100	0	500,100	
7	次年度繰越金	0	0	0	
8	合 計	500,100	4,036,803	-3,536,703	

### (2) 学費貸付金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
9	前年度繰越金	8,803,697	3,663,057	5,140,640	
10	一般会計より資金繰入	0	2,000,000	-2,000,000	
11	特別会計より資金繰入	0	4,036,803	-4,036,803	
12	学生貸付金返済金	2,300,000	2,000,000	300,000	
13	雑 収 入	3,000	10,000	-7,000	
14	合 計	11,106,697	11,709,860	-603,163	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
15	学 生 貸 付 金	10,000,000	10,000,000	0	
16	予 備 費	1,106,697	1,709,860	-603,163	
17	合 計	11,106,697	11,709,860	-603,163	

### (3) 福祉基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
18	前年度繰越金	0	97,512	-97,512	
19	雑 収 入	0	0	0	
20	合 計	0	97,512	-97,512	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
21	一般会計に組入	0	97,512	-97,512	
22	次年度繰越金	0	0	0	
23	合 計	0	97,512	-97,512	

### (4) 学生生活基金会計

#### 収入の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
24	前年度繰越金	2,132,464	2,131,940	524	
25	雑 収 入	1,000	2,000	-1,000	
26	合 計	2,133,464	2,133,940	-476	

#### 支出の部

単位：円

	科 目	2011年度 予算	2010年度 予算	差 異	備 考
27	講演会、パンフレット作成	350,000	350,000	0	
28	次年度繰越金	1,783,464	1,783,940	-476	
29	合 計	2,133,464	2,133,940	-476	



## 入学式

春とはいえ肌寒さの残る4月4日、2011年度の名古屋芸術大学入学式が西キャンパス体育館で行われました。



学部入学生（音楽・美術・デザイン・人間発達学部）と大学院入学生（音楽・美術・デザイン・人間発達学研究科）及びその保護者の方々、また、来賓の皆様をお迎えし、本学教員役職者と教職員が着席して、開式に先立ち恒例の名古屋芸術大学オーケストラによる式前演奏（歌劇「ウィリアム・テル」序曲よりスイス軍の行進）が行われました。



定刻を迎え、まず、このたびの東日本大震災で犠牲になられた方に出席者全員で黙とうをささげました。開式のことばに続いて、学長から学部・大学院入学生の「入学許可」が宣言されました。この後、竹本義明学長が式辞に立ち、大学を代表して出席者に祝辞を述べられました。学長は式辞の中で「21世紀は科学技術と文化芸術の時代と言われていますが、特に、科学技術に文化的・芸術的要素である『感性』が重要視されています。バランスの取れた理性和感性が求められているからです。本学は、昨年からカリキュラムの見直しをし、学部の学士教育の充実のため、教養教育と専門教育のバランスの良い枠組みを構築し、世界に通じる『学士』として、身に付けておかなければならない知識

を学ぶことを目指しています。また、大学はその存在意義と社会的責任への対応として、地域コミュニティへの活動が求められています。授業に新たなプログラムを加え、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、そして、グループの合意形成や相互理解を促進させる能力としてのファシリテーション能力の向上に取り組んでいます。大学では、ゆつくりと自分自身のペースで、真に大切なものは何か、足をしっかりと地につけ、目標や計画を持って、一步一步前進していきましょう。」と激励されました。続いて、入学生代表による宣誓が行われました。大学院の代表の美術研究科美術専攻の高橋明宏君と、学部の代表の人間発達学部こども発達学科二宮萌さんが力強く宣誓を行いました。この後、本学の設置法人である学校法人名古屋自由学院の理事長、川村大介氏が挨拶を行い、続いて、来賓を代表して北名古屋市長、長瀬保氏の祝辞がありました。そして、ご出席の来賓の皆様のご紹介を行い、最後に、本学教員役職者を紹介して式典を終了しました。

式典終了後は、再び、名古屋芸術大学オーケストラにより、新入生歓迎演奏が行われました。音楽学部演奏学科古谷誠一教授の指揮により、R. ワーグナー作曲の楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第一幕への前奏曲が演奏されました。オーケストラの音色が会場一杯に響き、芸術大学にふさわしい趣のある入学式となりました。



### 大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号	
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス (音楽学部・人間発達学部) 0568-24-0315 (代)	
成績について 証明書発行について	教務課		
休学・退学について 課外活動・大学祭等について 住所変更等について 就職について 資格取得講座について アルバイトについて その他学生生活全般について	学生支援課		
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課		
教員免許・学芸員資格について	教職センター(実習指導室)		
交換留学について	国際交流センター(学生支援課)		
生涯学習講座について	生涯学習センター(学院広報室)		0568-24-0359 (直通)
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課		東キャンパス 0568-24-5141 (直通)
アート&デザインセンターで開催 する展覧会について	アート&デザインセンター		西キャンパス 0568-24-0325 (代表)
後援会について	事務局(事務部長)		東キャンパス 0568-24-0315 (代表)

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報に含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

# 名古屋芸術大学近況報告

## 音楽学部

### 《演奏学科》

#### 声楽コース

声楽コースでは、今年度もオペラ公演を中心に各種演奏会を設定しています。今年度のオペラ公演は数あるウィнна・オペラの中でも最高峰とされる作品で「オペレッタの王様」とも呼ばれる、ヨハン・シュトラウス2世の喜歌劇「こうもり」を予定しています。学生達は、昨年度の「フィガロの結婚」の大成功に刺激を受けて、やる気まんまんで練習しています。

昨年度のオペラ公演には、東京から国立音大、武蔵野音大の先生方も来場されていて、高い評価をいただきました。その先生方によると「これほどの高いレベルの学生オペラを在学中に経験できる名芸大の学生達は、とても恵まれている」とのことでした。今年度のオペラ公演は、昨年度に比べると少ない予算で行わなければならないので、苦労が多いと思いますが、オペラ担当の澤脇教授はじめ教員一同、全力で大成功に向けて頑張る所存です。

声楽コース 教授 土佐 誠

#### 弦管打・バンドディレクターコース

ウィンドオーケストラは8月に韓国チェジュ国際吹奏楽フェスティバルに参加し、盛り上がりがすごく皆楽しんで帰国しました。

9月30日定期演奏会は、竹内先生とヴァンデル・ロースト先生の指揮で開かれますが、今年はホルンの野々口先生のソロで、ロースト先生作曲の「ラプソディー」も演奏されます。

オーケストラは、古谷先生の指揮で今年も合唱つきの曲、マーラーの「復活」に挑戦することになり、弦の学生は夏休み返上で練習にはげむことになりそうです。

11月15日学内でヴァイオリンの客員教授ベンジョン・シャミール先生とともに教員による「室内楽コンサート」があります。室内楽は前から盛んですが、今年はオーディションに42組のエントリーがあり、12月の演奏会にだれが出演できるかと楽しみになっています。

アンサンブル研究所の活動の1つNUAストリングス第4回演奏会が8月27日開催され、今年はハイドンのシンフォニーが加わります充実してきました。

3月26・27日もう7回目になりますが、オーケストラワークショップが開催され大勢の高校生、一般の愛好者が受講し大イベントになります。卒業生の皆さんもぜひ見学に来て下さい。

弦管打・バンドディレクターコース 教授 森 典子

#### ピアノコース

ピアノコースは今年度、特別客員教授としてウィーン国立音楽大学教授マインハルト・プリンツ先生をお招きしました。先生にはピアノコース学生のレッスンをはじめ、7月21日には“ピアノ公開講座「ペダルを聴く」”を講演していただきました。演奏をまじえたお話は興味深く好評で、終了後も多くの質問者が残りました。後期に予定されている第2回の講演が待たれます。

9月29日には、ポーランド国立カトヴィツェ高等音楽院教授ヨアンナ・ドマンスカ先生による“ピアノ公開講座「ショパンの様式～ポロネーズとその特徴について」”が開催されます。ロンティボー国際コンクールをはじめ多くの国際コンクールに入賞し現在、カトヴィツェ音楽院で教鞭を執られている先生の講座は、ショパンの楽曲演奏について多くのヒントを与えていただけるのではと楽しみにしています。

毎年、学生発表の場として多くの演奏会を開いているピアノコース。7月24日には「コンチェルトの夕べ」として名古屋伏見～しらかわホール～で開催され、オーディション課題曲《モーツァルト No.21 ハ長調 K.467, シューマン イ短調 Op.54, ラフマニノフ No.2 Op.18》を満席に近い来場者のなか、いずれも好演しました。

また8月8日には、名古屋芸術大学3号館講堂（ホール）にて「ピアノ・サマーコンサート」を開催しました。真夏の暑い夕刻にも関わらず、出演者のご家族・友人をはじめ近隣在住の方々も来場いただき、熱気がこもった演奏会になりました。

この後、後期に開催予定しています主だったコンサートは「ピアノの夕べ」11月10日、「第14回定期演奏会」11月17日、「春のコンサート ピアノのしらべ」2012年2月16日、「卒業演奏会」3月1・2日が予定されています。

ピアノコース 教授 田中航造

#### 電子オルガンコース

今年度の電子オルガンコースも、内外に音楽を発信しながら元気に学んでおります。

ゴールデンウィーク中の名古屋駅前の大イベント“えきトピア”での『スーパーキッズ・エレクトーン・オーケストラ』のプロデュースを担当。当日の多数ご来場いただいた皆様から大いに喝采を受けるに至りました。

また、昨年に第1回目を催し、中部・東海・北陸の外部関係者に好評を得ました“ワークショップ”を7月半ばに本学キャンパスで開催。今年も100余名のご参加をいただいで、成功裡に終了。スペシャルゲストに安藤禎央

氏をお招きし、90分の感動的なライブをしていただきました。ワークショップは外部の方々もとにかく、学生に大いに刺激を与える手応えがありますので、是非とも恒例化して来年も開催したいと考えてます。

9月に名古屋で開催される“街かどアンサンブル”への出演も決定。有志学生が星ヶ丘の三越で9月24日の午後、演奏を披露します。

毎年のコース定演“アースエコー”は熱田文化小劇場で行われます。こちらも年1回のメイン・イベントなので、ぜひ皆さんもお楽しみになさってください。

電子オルガンコース 准教授 鷹野雅史

## 《音楽文化創造学科》

### ミュージカルコース

今年も二月に、恒例となっている「飛騨・童話会議」で「星の王子様にヨロシク」というオリジナル・ミュージカルを上演させて頂きました。今年は三年計画の最後の年にあたり、例年以上の熱気が会場全体を包んでいました。

毎年、二百人を越える飛騨地方の市民の皆さんが参加するこの企画は、学生たちにとっては大きなステップアップの場であると同時に、この地方にいらっしやる卒業生の皆様と共に音楽を楽しむことの出来る貴重な時間ともなっています。

この企画には、三年間、後援会から資金的な支援を頂きました。そのお蔭で、多数の学生たちが公演に参加することが出来ました。ありがとうございました。

実は、公演終了後にビッグニュースがもたらされました。三年間の公演活動が評価され、新たな三年計画が発表されたのです。新計画は、岐阜県、高山市、飛騨市、下呂市、白川村からの援助を頂けることとなり、今まで以上にスケールアップした企画となります。名古屋芸大、ミュージカルコースにとって、思いもかけぬ大きなプレゼントを頂くこととなりました。

三月には、ミュージカルコースの定期公演で「姉妹の争い〜エリザベスとメアリー」という新作を上演致しました。これは、イングランドの女王エリザベスとスコットランドの女王メアリーの血みどろの争いに題材を得たオリジナル・ミュージカルで、歴史物としてはジャンヌ・ダルクに続く作品となります。

この他にも、街角アンサンブル、北名古屋市市民芸術劇場などで、70～90年代のJ-Popを特集したコンサートなども企画致しました。

お時間のおありの際には、ミュージカルコースの公演、コンサートに是非足をお運び下さい。

ミュージカルコース 教授 森泉博行

### ジャズ&ポップスコース

ジャズ&ポップスコースは、今年度新しい特別客員教授を迎え、さらに充実した授業を展開しています。7月7日には、ボーカルのケイコ・リー氏、7月21日にはドラムの藤井 撰氏の公開講座が行われ、学生にとっては非常に有意義な時間を過ごす事ができました。

一方、学生によるセッションも盛んに開かれ、創造性豊かな活動が行われています。

また、新1年生は本年9月5・6日音楽文化創造学科の他のコースとともに八ヶ岳のセミナーに参加します。

ジャズ&ポップスコース 教授 竹本義明

### 音楽ビジネス・ステージマネジメントコース

今現在、日本の芸術はたいへん厳しい状況に置かれています。財政上の理由から、文化庁や自治体による公的な支援はその額が減ぜられ、また民間も支援には消極的になっています。そして、3月に起こった大震災はこの傾向に拍車をかけました。生活インフラの破壊を目の前にして、芸術の必要性を説く人は誰もいませんでした。

しかし一方で、日が経つにつれ被災した人々が音楽によって深く癒されたという話もたくさん聞きます。復興の原動力は、単なるシュプレヒコールではなく、悲しみや苦しみを皆と協和することから生まれたのではないのでしょうか。そんな時に人々の口の端に浮かんだのは懐かしの歌の数々だったのかも知れません。

こうした地球のカタストロフに遭遇したことを機として、芸術の社会的な意義と価値を再考する必要があると考えます。芸術を社会的に成立させる学問として最近アートマネジメントが着目されていますが、まずは学問としてこれを正しく学び、かつ芸術が社会的な存在であることを広く知らしめるために実践を重ねることが大事だとも考えます。

そこで新しい時代にマッチしたコースであることを確認し、標榜するためにも、来年度より本コースの名称を現在の「音楽ビジネス・ステージマネジメントコース」から「アートマネジメントコース」へと変更することにしました。不安もありますが、新しさへの挑戦に身の引き締まる思いがします。

音楽ビジネス・ステージマネジメントコース  
教授 山田 純

### 音楽教育コース

音楽教育コースは、教育現場をはじめさまざまな音楽活動の場で、指導的な立場に立つことのできる音楽教育者の育成を目標としています。そのためには歌とピアノ(実践)のほかに、物事を理論的に深く考える力も身につけなければなりません。今年度の「音楽教育Ⅲ」(通称ゼミ)では、新聞に掲載されている音楽的な記事を読み、それについて議論するという授業を行っていますが、前期には3月11日の大震災の影響を受けて「震災と音楽」に関わる記事が大変多く見られ、学生たちは記事に接して「音楽に何ができるのか」、「音楽はどのような力を持っているのか」について深く考えた様子でした。

一方、実践面では、9月に恒例の演奏旅行(飛騨市立神岡中学校)や「音楽はともだち」コンサート(名古屋アートピアホール)を実施します。これからも、実践と理論の両方を充実させるべく授業を展開していきたいと考えております。

音楽教育コース 教授 金子敦子

### 音楽療法コース

音楽療法コースでは、後援会の後援をいただき2011年3月12日(土)東キャンパス3号館ホールにて音楽学部音楽文化創造学科音楽療法コース主催の「甘建民 二胡コンサート」を開催しました。この前日、東日本大震災が起こり、ニュースでも悲惨な様子が刻々と報道されるのを見るにつけ、果たして公開講座を開催しても良いものかと思案しましたが、甘先生は東京発の新幹線に乗車する寸前に地震の発生を受けたにも関わらず、東京駅のホームで約5時間以上待たれたうえ、何としてみても深夜に名古屋入りをされました。また当日は多くのお客様も駆けつけていただき、私たちスタッフも震災にあわれた方々への思いを充分に受け止めてこの講座を開催することにしました。澄みきった音色と心から溢れる情感が聞く者の心にしみわたる素晴らしいものでした。音楽療法士はさまざまな音楽を用いた療法にあたります。故にいろいろな音楽に触れることが大変重要です。

今年も新1年生は9月5・6日に八ヶ岳のセミナーへ出かけます。今年は音楽ビジネス・ステージマネジメントコースとともに「ふれあいコンサート」を企画しております。地域の方々とのふれあいを大事にしながら学生たちも日夜研鑽に励んでおります。

音楽療法コース 教授 久保田進子

### サウンド・メディアコース

サウンド・メディアコースでは、作曲・録音・音響というより具体的な表現方法と芸術がどのように結びついていくのかを考えられるように、日々授業を展開して行っています。通常授業以外で以下の特別講義を実施しました。

5月12日(木)16:00より、本学2号館大アンサンブル室にて富田勲氏を招き、公開講座「作曲におけるサウンドと未来」を行いました。1970年代よりサウンドによる音楽表現を行ってきた富田氏をお招きし、作曲におけるサウンドについて、これまで制作した楽曲を再生しながら講義いただきました。また、「惑星 Ultimate Edition」「源氏物語幻想交響絵巻・完全版」の試聴をサウンドで行い、その制作秘話を聞くことができました。学生にとってまたとない貴重な機会となりました。



6月9日(木)16:00より、本学2号館大アンサンブル室にて加藤訓子氏を招き、公開講座「パフォーマンス&レクチャー「スティーブ・ライヒの作品についてと演奏」」を行いました。エレクトリック・カウンターポイント、シックスマリimba・カウンターポイント、ヴァーモント・カウンターポイント、それぞれの作品の制作過程や秘話などをお話いただきながら、プリレコーデッドテープと一緒に演奏いただきました。作曲や音響、録音について研究しているサウンド・メディアの学生にとっては、大変有益な特別講義となりました。

サウンド・メディアコース 講師 長江和哉

### 作曲・理論コース

作曲コースでは、作品を作る上でかかせないアカデミックな作曲理論と、それに裏打ちされた実際の作曲実習を中心に学習していきます。

毎年3月には、学内外の演奏者に演奏をお願いして、学生作品の公開試演会を開催しています。これは、各学生が学年ごとに決められた課題作品を半年ないし1年かけて作曲し、それを実際に音にすることであり、学生個々のスキルを上げるために大変意義のあることと考えています。

また、例年実施されます音楽文化創造学科のイベント「ルネッサンス21」で、本年も作曲コース学生のオーケストラ作品が演奏され好評を博しています。卒業演奏会でも成績上位の学生の室内楽作品が演奏されました。

このように、作曲コースで学ぶ学生は、作品の演奏されるチャンスに恵まれ、各学生が目標をもって充実した学生生活をおくっています。

作曲・理論コース 教授 田中範康

## 《演奏学科・音楽文化創造学科》

### 音楽総合コース

音音楽総合コースでは、慣例になっている新入生対象の合宿を、4月1、2日、の2日間、豊橋のリゾートホテルで行いました。総合コース新入生他、全コースからの代表教員、教務課事務担当者が参加し、きめ細かな履修指導、各コースの説明を行いました。

1日目の出発時には、なんとなく緊張していた新入生も、バスの中での自己紹介やゲームなどを通じ、合宿地に到着する頃にはリラックスして、楽しく談笑している姿がみられました。また、この合宿には2、3年生の総合コースの学生が、約10名が同行しましたが、彼らは先輩の立場からの学生生活、履修方法などを、学生目線の確かなアドバイスをしてくれていました。

総合コースの学生は、学びたい分野に応じて個性的なカリキュラムを自ら作り、将来専門家として自立するための勉強をしていくわけですが、この為に大学では個々の学生が充実した学生生活を送れるよう、学年単位の担任制、専従の助手を配置するなど、特に細かなケアを行って見守っています。

3年次で再度コースの見直しをしますが、1、2年時の履修状況、専門教員の意見などを参考にして、各学生の意向、個性を尊重した進路相談を行なっています。

また、学生生活の面では、クラブ活動や芸大祭で中心的なメンバーとして活躍する学生も多く、様々なイベントで生き生きと活動している姿をよく見かけます。

さらに、各コース主催の演奏会、セミナー、合宿などにも積極的に参加して、自らの音楽的スキルに磨きをかけています。

音楽総合コース長 教授 田中範康

## 美術学部

### 「芸術文化を復興の軸に」

このたびの東日本大震災におき、被災された方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げますとともに早期の復興を祈念しております。

巨大津波に襲われた被災地のあまりの惨状や原発事故で避難を余儀なくされた人々の苦しみを思うとき、我々個々の生活が、どれだけの意味を持つのかと、虚しさを覚えたのも私だけではあるまい。

今回の震災は869年の「貞観の大津波」以来の大災害だと云う。技術で抑え込んだはずの津波は、世界一と誇った大堤防を破壊した。科学の英知で手なづけたはずの原発も制御不能に陥った。

政治が経済が科学が……、高度に発達したはずの近代文明そのものが問い直されている。

科学技術で自然を制御出来ると信じ中央統制で経済力を伸ばしてきた結果、個性は失われ自然は荒れた。今回のような災害は、いつでも起きて不思議ではない。被災から改めて教えられる。大切な「もの」も大きかったし、この近代の偏りを正す復興でありたい。

「創作的志向と文化の尊重、振興さらには自然との共生」そこでの生業は、それだけで価値を持ち日本の明日の姿と信じたい。

名古屋芸術大学の役割と存在の意義もそこにあり、小さなものではない。

美術学部長 神戸峰男

### 「フレスコ壁画の研修」

フランス文化省公認壁画修復家でフレスコ画家、名古屋芸術大学の名誉教授であります、高橋久雄先生が長年抱いてこられた「中世時代の壁面に現代に生きる人間の思想、哲学を壁画という形で残しておきたい。」という願望が叶い、昨年6月にユルスリーヌ塔の筆入れ式が、駐仏日本国大使、元フランス文化相はじめたくさんの来賓を迎え盛大に行われ壁画創作が始まりました。

「稀にしかない機会に日仏の若い学生たちと、制作することはなお一層有意義なことで確信しています。」という高橋先生の言葉のように、我が校も研修という形でこの制作に参加させていただくことになりました。

昨年、卒業生と学生が訪れ約1週間の研修に参加しました。

今年の名古屋芸術大学の研修としては、7月から9月にわたって2つのグループが参加します。今回、第一陣として7月27日から8月11日まで、約2週間の研修に訪れました。

暑い日本とは違って、涼しく、朝晩は寒いという、快適な気候の中での研修となりました。

今回は、2回目の学生が2名、日本画助手1名、男子学生1名という少人数であったので、準備、作業、片付けといった段取りもスムーズに運び、何の心配もなく仕事に没頭することができ、研修の内容も、漆喰作りから始まり、2層目の下地作りと今までの復習も兼ねて学習することが出来ました。

仕事に入る前には必ずベストの状態で作ることができるよう、高橋先生の指導のもと試作を充分に行い、本番に臨むということが繰り返され慎重の上にも慎重に(後世に残る仕事)という思いで取り組み、日によっては深夜にまで及ぶ制作を行いました。皆疲れてはいるものの、達成感の方が勝るのかしっかりと仕事が出来たことに喜びを感じていました。

研修の間には、地元のC I T U (ユルスリーヌ国際文化センター)会員の方が、お菓子やオードブル等を用意してアペリティフ(食前酒)に招いて下さり歓迎して下さいました。

学生たちも覚えたての片言のフランス語を駆使し地元の方たちとの国際交流を満喫していた。

研修中も公式記録の為にテレビカメラの撮影が行われ、又、ソーヌ・エ・ロワール県の副知事御夫妻が訪ねて来られる等、日仏両国の方々が、このプロジェクトに大きな期待を持って見守っておられることがより伝わってきます。

美術学科主任 白井久義



## 「フレッシュマンキャンプを終えて」

今年度初の美術学部フレッシュマンキャンプが、週末の土日を利用して5月14日、15日に行われました。当日はすがすがしい晴天にも恵まれ、総勢約140名にも及ぶ大型バス3台で京都、滋賀方面へ一泊二日の旅行となりました。

初日は京都国立近代美術館で、スイス出身の近代画家パウル・クレー展の絵画鑑賞に始まり、三十三間堂での膨大な数の木彫千手観音立像とじっくりと対面した後、大旅館にて京都のリラックスした一晩を過ごしました。また、翌日は滋賀の静かな山中にある、古代芸術の充実したコレクションを持つミホミュージアムに向かい、江戸時代の日本画家である長沢芦雪の企画展をゆったりと鑑賞しました。

今回この美術学部らしい「本物」を贅沢に鑑賞して学ぶ旅は、新入生にとって生涯忘れられない盛り沢山のフレッシュマンキャンプとなったことでしょう。

学生部学部主任 須田真弘



## デザイン学部

2011年度名古屋芸術大学(4学部4研究科)入学式が4月4日(月)に西キャンパスで行われました。3月の震災を踏まえ、出席者全員での黙祷後の開式となりました。

それから4カ月余り、デジタル放送開始年度の新聞テレビ欄、8月14日から番組名を取り出すと、「円の戦争」歴史の闇(NHK総合)、「ETV特集」アメリカ発・福島原発事故の深層(NHK、Eテレ)、池上彰の戦争を考える3時間SP~こうして戦後の復興が始まった(テレビ愛知)、日曜洋画劇場・終戦特別企画「母べえ」(メーテレ)等、各局とも8月のこの時期は、同種の内容が企画されます。今年は、戦後66年と数字が単に1つ増えた事以上に、何かしら現実の重さを感じざるをえない今日までであったし、簡単には区切りのつかない問題の継続性を意識させられました。大学も、学生も教職員もそうした社会(状況・状況)と当然の事ながら無縁ではありません。海外の姉妹校大学からも随分心配して頂いています。大陸から見れば島国ですから、距離感が私達と違うとはいえ、各々がより身近かな自身の問題として考えるべきである事を再認識しました。

デザイン学部は、バランスの取れた理性と感性を大切に、昨年よりカリキュラムの改革を進めています。学部学士教育の充実の為、教養教育と専門教育のバランスの良い枠組みを再構築しています。今日的な事として、大学の存在意識と社会的責任として、地域コミュニティーへの活動が求められ、各所でスタートしています。コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、グループの合意形成や相互理解を促進させる能力の向上に取り組んでいます。

ここでは、今期これまでデザイン学部が、学内外に対して実施した主な講座やイベント等を、簡略化して列挙します。

・5月28日/アートイベント「One Day Cate #2」で、メディアコミュニケーションデザイン学生・卒業生が、作品展示をしました。



・6月4・5日/有松絞りまつり」で、テキスタイルデザイン4年学生が、産学協同授業で制作した手ぬぐい、地下足袋等を発表しました。



・5月25日/テキスタイルデザイン卒業生ユニット「まり木綿」が出展デビューしました。

・5月28日/公開講座「デザインと文化4」藤城成貴氏×大熊健郎氏の仕事、作品レクチャーとワークショップが行われました。



・6月4日/公開講座「デザインと文化2」京都の釜師、大西清右衛門氏が「茶釜」について語られました。



・6月4・5日/「ホンダデザインセミナー 2011」が本学で開催されました。



・6月11日/公開講座「デザインと文化4」阿部蔵之×柏木圭「木のデザインとウッドワーク」が行われました。



・6月18日/公開講座「デザイナーを志望する学生は、大学で何を学ぶか」が行われました。元ヤマハデザイン研究所所長/高梨廣孝氏



・ 6月22日／公開講座「3人のポスター展」開催を記念した「広告表現論・特別講座」  
U.G.サトー氏が「ポスターの魅力」を語られました。



・ 6月25日／公開講座「デザインと文化4」ブックショップ「恵文社一乗寺店長／堀部篤史氏の「非効率の楽しみ、ライフハック時代の本と本屋、それにまつわるデザインの役割」について語られました。



・ 7月6日／公開講座「3人のポスター展」開催を記念した「広告表現論・特別講座」  
浅葉克己氏が「再びデザインの力」について語られました。



・ 7月12日／デザイン学部特別客員教授「檜原由比子氏によるワークショップと講評会1」が行われました。



・ 7月16日／公開講座「仕事っていったい何でしょう？」  
天野美保子氏が語られました。



・ 7月17日／オープンキャンパス2011「未来の自分に出会う」が開催されました。



・ 7月17日／デザイン学部特別客員教授「檜原由比子氏によるワークショップと講評会2」が行われました。



・ 7月23日／公開講座「デザインと文化4」永井文雄氏による「彫魚デザインと制作」が行われました。



・ 7月29日／デザイン学部特別客員教授若林剛之氏によるテキストデザインコースの特別講義が行われました。



・ 7月31日／小・中学生とシニア対象の芸大体験「一日芸大生」が開催されました。



※尚、項目別のより詳しい内容については、名古屋芸術大学ホームページ、デザイン学部、NUA ACTIVITYREPORT／トピックをご覧ください。

※追記／今年度より「フレッシュマンキャンプ」を実施しました。新入学生間の相互理解を深め、教職員、助手等スタッフとの親睦を多くの目的とした学外授業です。

6月17日、早朝大学からバス5台で出発。午前中に内海海岸にて、地曳網体験の後、ビーチコーミング(海岸での採集)を行いました。昼は南知多にてグループで、バーベキュー体験(地曳網での釣果?使用)、午後は、常滑へ移動し、本学常滑工房を中心に、散策(スタンプラリー)しました。楽しい小旅行だったと思いますが、デザインと学外(社会)を繋ぐきっかけになればと考えます。入学前の準備学習が、質量ともに減少傾向にあるようです。基礎教育の中で、何とかその補填を考えていますが、時間や数量の実質も大事ではありません。前期の夏休み期間の個々の在り方が重要になってきています。

全体としては、デザインの理解が進む中で、より専門性に向け確かなステップアップと、

社会性を身に付ける中で、社会との接点を個人としていかに見出すかが、後期の課題です。

デザイン学部長 落合紀文

## 人間発達学部

### 1. 教員異動

人間発達学部は昨年度末をもって完成いたしました。短期大学時代から人間発達学部の創設にご尽力いただきました太田悦生、田邊光子、三神廣子、藤田美生子、小島東洋治の5人の先生方が定年でご退職になりました。また、学部発足時から参画いただきました山本隆教授がご都合で退職されました。代わって、金田利子教授、星三和子教授、中田照子教授、安部孝准教授、山中裕二講師の5人の先生方が新規に着任されました。さらに、教養部会の加藤智也先生が准教授に昇任されました。

このように、総員24名の教員の四分の一が入れ替わったのですが、人間発達学部では、50年近い自由学院の伝統を受け継ぎながら、新たな歩みを始めようとしています。

### 2. 大学院人間発達学研究科の設立

人間発達学部の完成を期して、かねてより準備・計画してきました大学院人間発達学研究科を立ち上げました。

この大学院人間発達学研究科の目的は、

- ① 幼児・初等教育の分野で指導的役割を担うことのできる人材の養成
- ② 子どもの発達支援にかかわる高度な専門的職業人の養成の2点に集約できますが、これまでのスタッフに加えて、新規に参画いただいた金田、星、中田の3先生は、それぞれ「子ども学」、「発達心理学」、「児童福祉学」のわが国を代表する研究者ですので、この地区の幼児・初等教育ならびに発達・発達支援学研究の中心として発展することが期待できるものと考えています。

### 3. 学部行事、地域貢献など

今年度は137名の新入生を迎えました。4月の入学式の直後に三重県浜島町「合歓の郷」を会場に新入生オリエンテーション合宿を行いました。

昨年に引き続いて、4年生の実行委員が企画段階から極めて熱心に取り組んでくれ、当日の学部・大学紹介やグループ討論などで力を発揮してくれました。とりわけ周到に準備された学部・大学紹介でのプレゼンテーションのうまさは目を見張るものがありました。また、新一年生の課題への熱心な取り組みや話を聴こうとする態度には、例年以上に強い、学生生活への期待と意欲とを感じさせるものがありました。さらに、今年度からこの行事は大学全体のフレッシュマン・キャンプの一環として位置づけられたこともあり、菅嶋学生部長が臨席されたのも特記すべきことでした。

6月11日には、本学音楽講堂において、「文化創造セミナー」を開催しました。「人形劇とこども」をテーマに、『むすび座』の人形劇「おばあさんとマリーちゃん」を鑑賞した後、役者でもある同劇団の柿内尚生さんの講演を



聴きました。講演後の質疑では、多くの学生たちから当を得た質問が出され、演者を感心させるほどでした。

8月6日には、学部内の人間発達研究所が中心となり、名古屋市のウインクあいちにおいて、「特別公開講座」を開きました。今年は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所理事長の小田豊氏から「今後の保育・幼児教育の動向と課題」についてのお話を聴くことができました。保育所、幼稚園、認定子ども園などの今後についての、まさしく教育行政の最先端のお話でしたので、県内外の450名を越す保育者や市町村等の行政担当の方々も熱心に耳を傾けておられました。



なお、人間発達研究所では、4月から『子育て・子育てワークショップ』を開催しており、地域の親子さん(延べ数で年間約200組の参加申込があります)に遊びの場を提供するとともに子育て相談等の支援に取り組んでいます。

### 4. 秋に向けて

今年度からは文科省の示唆もあって半期15週(試験を含めると16週)の授業が行われましたので、夏休みがずいぶん短くなりました。何人かの学生には、既に公立小学校の一次試験や公立保育園の採用試験の合格の知らせが届いておりますが、多くの4年生にとっては就職への取り組みに忙しい時を迎えました。また、3年生たちは幼稚園等の実習が始まります。日頃の努力が報われる“稔りの秋”となりますことを祈念しております。

人間発達学部長 佐藤勝利

# 学生部報告

2011年度前期の授業期間が終了しました。学生たちも前期試験を終え、ホッとしているところかと思えます。

今年度から新入生たちが友達を作り、早く充実した学生生活ができるように全学的にフレッシュマンキャンプを始めました。学部、学科によってはすでに実績を持つところもありますが、全学的に導入するのは初めてで、おおむね6月までに各学部創意工夫して実施し、狙い通りの成果を上げることができました。学生間だけではなく、学生と教員の距離も近くなったことを実感しました。より充実した学生生活ができるよう今後もしっかりとサポートしてまいりたいと思います。

また2010年度の就職進学率は、わが国の経済不況の影響を受けて5月1日時点で音楽学部89%、美術学部58%、デザイン学部69%、人間発達学部89%でした。美

術学部とデザイン学部において特に厳しい結果でした。その後改善され、6月30日時点で美術学部は94%、デザイン学部は98%までになり、少し安堵しております。しかし今回の動向を分析し、さらに就職支援の強化をしてまいりたいと思います。

学生支援課では就職対策および資格取得の講座の実施、求人情報の提供に加え、就業体験や適正職業を見つけるのに有効なインターシップの提供、人間発達学部では、教員採用試験および公務員試験対策講座の実施、小学校、保育所および幼稚園志望者に対する特別講座の提供などの就職支援を行っております。お子様に対し保護者の皆様からお声掛けいただけますようお願い申し上げます。

学生部長 菅嶋康浩

## ■2011年度学生数

2011年5月1日現在 **総学生数 2,530人**

学 部	学 科	1 年			2 年			3 年			4 年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	16	51	67	13	51	64	12	71	83	10	63	73	287
	音楽文化創造学科	36	44	80	31	55	86	30	53	83	40	60	100	349
	音楽学部小合計	52	95	147	44	106	150	42	124	166	50	123	173	636
美 術 学 部	美 術 学 科	28	94	122	22	109	131	28	102	130	10	96	106	489
	絵画科 日本画	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	3
	絵画科 洋画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2	8	8
	造 形 科	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3	4	7	8
	美術文化学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	6	6
	美術学部小合計	28	94	122	22	110	132	29	102	131	21	108	129	514
デザイン学部	デザイン学科	45	155	200	53	126	179	42	149	191	51	118	169	739
	デザイン学部小合計	45	155	200	53	126	179	42	149	191	51	118	169	739
人間発達学部	子ども発達学科	38	99	137	32	89	121	39	89	128	37	125	162	548
	子ども発達学科小合計	38	99	137	32	89	121	39	89	128	37	125	162	548
学 部 生 合 計		163	443	606	151	431	582	152	464	616	159	474	633	2437

研 究 科	1 年			2 年			合計
	男	女	計	男	女	計	
音 楽 研 究 科	4	7	11	3	12	15	26
美 術 研 究 科	8	12	20	9	25	34	54
デザイン研究科	2	4	6	2	3	5	11
人間発達学 研究科	1	1	2	0	0	0	2
大 学 院 生 合 計	15	24	39	14	40	54	93

## 2010年度「授業評価アンケート」報告

名古屋芸術大学は昨年度、大学基準協会による大学評価を受審する手続きをしており、その中での「授業評価アンケート」の実施となりました。「大学評価」とは2004年度から法令化されたもので、個々の大学が国の定めた「大学設置基準」を満たし、さらに大学が独自に設定している「教育水準(教育目標・教育課程・教育活動など)」に到達しているかどうかを、第三者が点検し評価するものです。「授業評価アンケート」はほとんどの大学がその受審の際に、資料として提出しています。このアンケートは、学校教育法(第九章第百九条)で求められている教育研究等の点検・評価及び公表というFD(Faculty Development)活動の一環として行われるものであり、授業改善に向けた基礎資料となっています。

「授業評価アンケート」を開始して今年度ですでに6年目になります。今後はFD・SD委員会を中心として、同アンケートの有効性を高めるために項目の選び方や実施形態をつねに見直し、評価結果から学生の学習状況や学習環境を理解し、いかにして学生の学習意欲を高め、また学部、学科、コース単位での教育水準を向上させる

かという、「組織としての教育力」の議論を引き続き行っていくことにしています。

本学は一昨年度から、アンケート結果のデータ処理(読み込みと分析)から資料作成までをアウトソーシングで対応しています。それによってアンケートの諸項目については、平均数値を出した上で、それを各種類のグラフに表現できるようになり、また授業ごとに分析値もデータ化することで授業改善に向けた一定の資料が整うことになりました。

2010年度は、あらたに設置した「大学評価・改革特別委員会」(教員と事務職員で構成)が「授業評価アンケート」の担当委員会となり、これに出ている複数の事務職員が学内の作業担当者となりました。

FDの問題はいうまでもなく大学教育の根幹をなす重要課題ですが、SD(Staff Development)の能力向上も、学生の学習支援にとっては不可欠の問題だといえます。今後はこのSDについても点検と評価を積極的に行い、学生の「教育上の支援の観点」から改善に向けた方策を打ち出していきたいと考えています。

自己点検・評価委員会  
委員長(副学長) 橋本裕明

### 「2010年度授業評価アンケート」の内容

調査項目は15項目あり、以下の設問で、5段階評価(最高5)としています。また学生からの意見や要望を聞く為の自由記述欄も設けております。

#### 〈設問1～4:あなた自身について〉

1. あなたの授業出席割合はどれくらいですか
2. あなたのこの授業への(週)予習・復習時間はどれくらいですか
3. あなたのこの授業への取り組みは自己採点で何点くらいですか
4. あなたは授業内容を講義要項(シラバス)で確認しましたか

#### 〈設問5～7:授業科目について〉

5. 授業内容はシラバスに即していましたか
6. 授業の開始・終了時間は適切でしたか
7. この授業で使用した教科書・プリントは有益でしたか

#### 〈設問8～11:担当教員について〉

8. 教員の熱意や工夫は感じられましたか
9. 質問や提出物への対応は適切でしたか
10. 教員の説明やアドバイスは適切でしたか
11. 教員は学生に公平に対応していましたか

#### 〈設問12～14:全体評価について〉

12. この授業に一層の学習意欲がわきましたか
13. あなたはこの授業によって知識が広がりましたか
14. この授業の総合的な満足度を教えてください

#### 〈設問15〉

15. 担当教員による自由設定項目 ※自由記述欄

### 2011年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	1	金	音楽総合コース1年セミナー(4/1~4/2)
	2	土	↓
	4	月	入学式
	5	火	オリエンテーション(4/5~4/9)
	↓		↓
	7	木	健康診断
	9	土	↓ 新入生歓迎会
	11	月	授業開始
	14	木	履修登録訂正期間(4/14~4/15)
	15	金	↓
5月	29	金	休校 昭和の日
	30	土	閉校
	1	日	休校 開学記念日
	2	月	休校 臨時休業日
	3	火	休校 憲法記念日
6月	4	水	休校 みどりの日
	5	木	休校 こどもの日
	18	土	オープンキャンパス
7月	22	水	前期実技試験曲目提出期間(6/22~7/5)
	↓		↓
	5	火	↓
8月	18	月	海の日 授業日
	30	土	実技試験期間(7/30~8/1)
	↓		↓
8月	1	月	↓
	2	月	前期試験期間 (8/2~8/8)      音楽講習会 (8/2~8/7)
	3	火	↓
	↓		↓
	7	日	↓
	8	月	↓
	9	火	試験予備日
	10	水	前期補講・集中講義期間(8/10~8/12)
	↓		↓
	12	金	↓
9月	19	金	前期試験合否発表(13:00)
	22	月	前期補講・集中講義期間(8/22~8/26)
	↓		↓
	24	水	追再試験期間(8/24~8/26)
	↓		↓
	26	金	↓
9月	6	火	追再試験合否発表(13:00)
	11	日	AO入試受験診断日
	14	水	後期オリエンテーション(9/14~9/16)
	↓		↓
9月	16	金	↓
	19	月	後期授業開始 敬老の日
	23	金	秋分の日 授業日
	25	日	オープンキャンパス
	27	火	後期履修登録訂正期間(9/27~9/28)
28	水	↓	

10月	2	日	AO入試
	10	月	体育の日 授業日
	27	木	芸大祭(10/27~10/30)
	↓		↓ ※休講
11月	30	土	↓
	3	木	文化の日 授業日
	5	土	推薦入試、3年編入前期入試
	6	日	指定校入試
	22	火	休校 学院創立記念日
	23	水	休校 勤労感謝の日
	25	金	後期実技試験曲目提出期間(11/25~12/8)
12月	↓		↓
	3	土	大学院A日程入試
	8	木	↓
	23	金	天皇誕生日 授業日
	24	土	音楽講習会(12/24~12/27)
	↓		↓
	26	月	補講・集中講義期間(12/26~12/28)
	27	火	↓
1月	28	水	↓
	29	木	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)
	↓		↓
	3	火	↓
	4	水	補講・集中講義期間(1/4~1/6)
	↓		↓
	6	木	↓
2月	9	月	休校 成人の日
	23	月	実技試験期間(1/23~1/25)
	↓		↓
	25	水	↓
	26	木	後期試験期間(1/26~2/1)
	↓		↓
2月	1	水	↓
	2	木	試験予備日
	5	日	A日程入試
	6	月	特待生入試・3年編入後期試験
	11	土	休校 建国記念日
	13	月	後期試験合否発表(13:00)
	16	木	追再試験期間(2/16~2/18)
	↓		↓
	18	土	↓
	21	火	研究生入試
3月	23	木	追再試験合否発表(13:00)
	29	水	卒業判定会議
	1	木	卒業演奏会(3/1~3/2)
	↓		↓
	7	水	進級判定会議
	20	火	休校 春分の日
	21	水	卒業式
3月	25	木	B日程入試
	28	水	2012年度前期オリエンテーション

## 2011年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定	
4月	4	月	入学式	
	5	火	オリエンテーション(4/5~4/9)	
	7	木	Web履修登録(新3-新4年生)	
	8	金	Web履修登録(新2年生) 健康診断(1-2年生)	
	9	土	Web履修登録(新1年生) 新入生歓迎会	
	11	月	授業開始	
	16	土	履修登録訂正締切(12:10まで)	
	29	金	休校 昭和の日	
	5月	1	日	休校 開学記念日
		2	月	休校 臨時休業日
3		火	休校 憲法記念日	
4		水	休校 みどりの日	
5		木	休校 こどもの日	
6月	12	日	オープンキャンパス	
7月	17	日	オープンキャンパス	
	18	月	海の日 授業日	
	29	金	前期授業終了	
	31	日	一日芸大生	
8月	1	月	夏季休業期間開始	
	2	月	前期試験期間(8/2~8/8)	
	8	月	↓	
	9	火	試験予備日	
	10	水	前期補講・集中講義期間(8/10~8/12)	
	12	金	↓	
	16	火	成績伝票提出締切(教員)	
	19	金	前期試験合否発表(13:00)	
	22	月	前期補講・集中講義期間(8/22~8/26)	
	24	水	↓	
	26	金	追再試験期間(8/24~8/26)	
	27	土	↓	
	27	土	AO入試	
9月	1	木	追再試験成績伝票提出締切(教員)	
	6	火	前期追再試験合否発表(13:00)	
	15	木	後期オリエンテーション(9/15~9/16)	
	16	金	↓	
月	日	曜日	後期行事予定	
9月	19	月	後期授業開始 敬老の日	
	23	金	秋分の日 授業日	
	25	日	オープンキャンパス	

10月	10	月	体育の日 授業日
	27	木	芸大祭(10/27~10/30)
	30	土	※休講
11月	3	木	文化の日 授業日
	6	日	推薦・指定校推薦入試
	12	土	大学院Ⅰ期、3年編入Ⅰ期入試
	22	火	休校 学院創立記念日
	23	水	休校 勤労感謝の日
	26	土	地域入試(浜松・金沢)
12月	23	金	天皇誕生日 授業日
	24	土	冬季休業期間開始
	26	月	補講・集中講義期間(12/26~12/28)
	28	水	↓
	29	木	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)
1月	1	日	元旦
	3	火	↓
	4	水	補講・集中講義期間(1/4~1/6)
	6	木	↓
	9	月	休校 成人の日
	10	火	後期授業再開
	20	金	後期授業終了
	23	月	補講・集中講義期間(1/23~1/25)
	25	水	↓
	26	木	後期試験期間(1/26~2/1)
2月	1	水	↓
	2	木	試験予備日
	5	日	A日程入試(2/5~2/6)
	6	月	↓
	8	水	成績伝票提出締切(教員)
	11	土	休校 建国記念日
	13	月	追再試験合否発表(13:00)
	14	火	社会人入試・3年編入入試
3月	15	水	研修生入試・大学院Ⅱ期入試
	16	木	追再試験期間(2/16~2/18)
	18	土	↓
	21	火	追再試験成績伝票提出締切(教員)
	23	木	追再試験合否発表(13:00)
	29	水	卒業判定会議
	7	水	進級判定会議
3月	13	火	転学部・転科転コース、研究生試験
	16	金	B日程入試
	20	火	休校 春分の日
	21	水	卒業式
	25	日	オープンキャンパス

2011年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	4	月	入学式
	5	火	1年生オリエンテーション合宿(4/5~4/6)
	6	水	↓
	7	木	オリエンテーション(4/7~4/9) 健康診断
	↓		↓
	9	土	新入生歓迎会
	11	月	授業開始
	14	木	履修登録訂正期間(4/14~4/15)
	15	金	↓
	29	金	休校 昭和の日
30	土	閉講	
5月	1	日	休校 開学記念日
	2	月	休校 臨時休業日
	3	火	休校 憲法記念日
	4	水	休校 みどりの日
	5	木	休校 こどもの日
	30	月	4年生小学校実習 (5/30~6/24)
6月	↓		↓
	18	土	オープンキャンパス
	24	金	↓
7月	18	月	海の日 授業日
	23	土	オープンキャンパス
8月	1	月	補講日
	2	月	前期試験期間(8/2~8/8)
	↓		↓
	8	月	↓
	9	火	試験予備日
	10	水	前期補講・集中講義期間(8/10~8/12)
	↓		↓
	12	金	↓
	19	金	前期試験合否発表(13:00)
	22	月	前期補講・集中講義期間(8/22~8/26)
	↓		↓
	24	水	追再試験期間(8/24~8/26)
	↓		↓
26	金	↓	
27	土	オープンキャンパス	
29	月	後期オリエンテーション(8/29~8/30)	
30	火	↓	
9月	5	月	2年生保育実習 I (9/5~9/17)
	6	火	追再試験合否発表(13:00)
	12	月	3年生幼稚園実習(9/12~10/1)
	17	土	↓
月	日	曜日	後期行事予定
9月	19	月	後期授業開始 敬老の日
	22	木	4年生履修登録訂正期間(9/22~9/23)
	23	金	↓ 秋分の日 授業日
	25	日	オープンキャンパス
	27	火	1・2年生後期履修登録訂正期間(9/27~9/29)
	↓		↓
	29	木	↓

10月	1	土	↓
	2	日	AO入試・大学院一次入試
	3	月	3年生履修登録訂正期間(10/3~10/4)
	4	火	↓
	10	月	体育の日 授業日
	27	木	芸大祭(10/27~10/30) ※休講
30	土		
11月	3	木	文化の日 授業日
	5	土	推薦入試・3年編入A入試
	6	日	指定校入試・推薦A入試
	22	火	休校 学院創立記念日
	23	水	休校 勤労感謝の日
12月	3	土	大学院二次試験
	4	日	推薦B入試・社会人入試
	23	金	天皇誕生日 授業日
	26	月	補講・集中講義期間(12/26~12/28)
	↓		↓
	28	水	↓
29	木	冬期一斉休業期間(12/29~1/3)	
1月	3	火	↓
	4	水	補講・集中講義期間(1/4~1/6)
	↓		↓
	6	木	↓
	9	月	休校 成人の日
	23	月	実技試験期間(1/23~1/25)
	↓		↓
25	水	↓	
26	木	後期試験期間(1/26~2/1)	
2月	1	水	↓
	2	木	試験予備日
	5	日	A日程入試(2/5~2/6)
	6	月	↓
	11	土	休校 建国記念日
	13	月	後期試験合否発表(13:00) 2年生保育実習 II (2/13~2/25)
	16	木	1・3・4年生追再試験期間(2/16~2/18)
	18	金	↓
	23	木	1・3・4年生追再試験合否発表(13:00)
	25	土	↓
29	水	卒業判定会議	
3月	1	木	3年生追再試験(3/1~3/5)
	↓		↓
	5	月	↓
	7	水	進級判定会議
	13	火	一般入試・3年編入B入試
20	火	休校 春分の日	
21	水	卒業式	

# CONCERT GUIDE

2011年度 名古屋芸術大学音楽学部 演奏会案内

## 9 September

**ウィンドオーケストラ第30回定期演奏会**  
指揮/ヤン・ヴァンデル ロースト  
竹内 雅一  
曲目/ハリソンの夢 他  
日時/2011年9月30日(金) 18:30開演  
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場料/1,000円 (全自由席)

## 10 October

**研究生特別演奏会**  
日時/2011年10月13日(木) 18:00開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**オーケストラ第29回定期演奏会**  
指揮/古谷 誠一  
日時/2011年10月20日(木) 18:45開演  
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール  
入場料/1,000円 (全自由席)

## 11 November

**第19回ピアノの夕べ**  
日時/2011年11月10日(木) 17:30開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**音楽学部第34回定期演奏会**  
日時/2011年11月17日(木) 18:00開演予定  
会場/三井住友海上 しらかわホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

## 12 December

「Earth Echo」  
**電子オルガンコース第14回定期演奏会**  
日時/2011年12月8日(木) 19:00開演予定  
会場/熱田文化小劇場  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**第30回室内楽の夕べ**  
日時/2011年12月9日(金) 18:00開演予定  
会場/熱田文化小劇場  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

## 2 February

**平成23年度 研究生修了演奏会**  
日時/2012年2月3日(金) 18:00開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**第10回 歌曲の夕べ**  
日時/2012年2月8日(水) 18:30開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**大学院音楽研究科特別演奏会**  
日時/2012年2月9日(木) 17:30開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**第16回 春のコンサート ピアノのしらべ**  
日時/2012年2月16日(木) 17:30開演予定  
会場/電気文化会館 ザ・コンサートホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**オペラ公演「こうもり」**  
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ  
演出/澤脇 達晴  
日時/2012年2月16日(木) 18:00開演予定  
会場/名古屋市芸術創造センター  
入場料/1,000円 (全自由席)

日時/2012年2月17日(金) 18:00開演予定  
会場/名古屋市芸術創造センター  
入場料/1,000円 (全自由席)

**オペラ公演「こうもり」**  
演出/澤脇 達晴  
日時/2012年2月21日(火) 18:00開演予定  
会場/岡崎シビックセンターコロネット  
入場料/1,000円 (全自由席)

**アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン**  
**第13回定期演奏会**  
指揮/ヤン・ヴァンデル ロースト  
小野川 昭博  
日時/2012年2月17日(金) 18:15開演予定  
会場/長久手町文化の家 森のホール  
入場料/1,000円 (全自由席)

**ルネッサンス**  
**音楽企画1「オーケストラと映像の3Dホリゾン」**  
管弦楽/セントラル愛知交響楽団  
日時/2012年2月24日(金) 18:00開演予定  
会場/熱田文化小劇場  
入場料/500円 (全自由席)

## 3 March

**第39回卒業演奏会**  
日時/2012年3月1日(木) 18:00開演予定  
会場/三井住友海上 しらかわホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

日時/2012年3月2日(金) 18:00開演予定  
会場/三井住友海上 しらかわホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**第14回大学院音楽研究科修了演奏会**  
管弦楽/コレギウム・アカデミカ  
日時/2012年3月7日(水) 18:00開演予定  
会場/三井住友海上 しらかわホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

日時/2012年3月8日(木) 18:00開演予定  
会場/三井住友海上 しらかわホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

日時/2012年3月9日(金) 18:00開演予定  
会場/三井住友海上 しらかわホール  
入場料/無料 (全自由席 整理券あり)

**ルネッサンス**  
**音楽企画2「レド・スコブ 2012 -音の万華鏡-**  
日時/2012年3月11日(日) 13:00開演予定  
会場/愛知県芸術劇場小ホール  
入場料/500円 (全自由席)

**ルネッサンス**  
**音楽企画3「音とテクノロジー-の地平線を求めて-**  
日時/2012年3月13日(火) 18:00開演予定  
会場/愛知県芸術劇場小ホール  
入場料/3,000円 (全自由席)

**ミュージカル公演 (演目未定)**  
脚本・演出/森泉 博行  
音楽/井上 堯之、長谷川 雅大  
指揮/竹内 雅一  
日時/2012年3月15日(木) 18:30開演予定  
会場/名古屋市芸術創造センター  
入場料/1,000円 (全自由席)

日時/2012年3月16日(金) 18:30開演予定  
会場/名古屋市芸術創造センター  
入場料/1,000円 (全自由席)

※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。入場無料の公演は、整理券を発行します。

【お問い合わせ】名古屋芸術大学音楽学部演奏課 ■〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281 ■Tel 0568-24-5141



# 就職セミナーの紹介

学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っていますので、気軽に利用してください。※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

## 2011年度 就職対策・キャリア支援行事予定表

### 《音楽学部》

月	日	曜日	時	講座内容	対象
4	3/29～4/13	—	—	就職模擬試験(第2回教員採用試験模擬試験)	4年・教員希望者
	4/11～22	—	—	作文添削(4/11～22)	4年
	13	水	5	ヤマハグレード試験・システム講師・PMS講師学内説明会	2・3・4年
	14	木	4	～就職活動について～(内容が異なるため学部別でガイダンス)	4年
			5	カワイ音楽講師・グレード試験学内説明会	2・3・4年
	21	木	11時～15時	就職用写真撮影(21日・22日いずれか1日)	4年
			4・5	～面接対策講座(総まとめ)・模擬面接～	4年
22	金	11時～15時	就職用写真撮影(21日・22日いずれか1日)	4年	
5	5/6～12	—	—	就職模擬試験(第3回教員採用試験模擬試験)	4年・教員希望者
	5/9～20	—	—	作文添削(5/9～20)	4年
	19	木	4	教員採用試験学内説明会(教員希望者・5限は受験地へ分かれる)	4年・教員希望者
			5	愛知県教員採用試験説明会	4年・教員希望者
				名古屋市教員採用試験説明会	4年・教員希望者
				岐阜県教育委員会採用試験説明会	4年・教員希望者
				三重県教育委員会採用試験説明会	4年・教員希望者
26	木	4	第2回キャリアガイダンス ～自分でみつかる、未来の自分～	1年	
6	2	木	4	～卒業後の進路について～(学部で内容が異なります。指定教室に出席)	3年
	6/6～17	—	—	作文添削(6/6～17)	4年
	8	水	5	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※8・10日いずれか1日で受験	3年
	9	木	4	第1回キャリアガイダンス ～これまでの自分、これからの自分～	2年
			4・5	～なりたい自分と社会とのつながり～(4・5限同内容、いずれかに出席)	3年
	10	金	5	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※8・10日いずれか1日で受験	3年
	15	水	5	就職模擬試験(第1回一般常識) ※15・17日いずれか1日で受験	3年
	16	木	4	第2回キャリアガイダンス ～個性発見!可能性を広げよう～	3年
	17	金	5	就職模擬試験(第1回一般常識) ※15・17日いずれか1日で受験	3年
23	木	4・5	～社会で求められる力とは～(4・5限同内容、いずれかに出席)	3年	
30	木	4・5	～自己表現講座～(4・5限同内容、いずれかに出席)	3年	
7	14	木	4	～CAREER APPROACHの解説～(学部で内容が異なります。指定教室に出席)	3年
	21	木	4・5	～一般常識試験対策講座～(第1回一般常識模試の解説 4・5限同内容、いずれかに出席)	3年
9	29	木	4	就職活動の進め方【基礎編】(進路希望によって教室・内容が異なります)	3年
10	6	木	4	後期からの大学生活の進め方	1年
				作文対策講座①	3年
	13	木	4	履歴書の書き方(進路によって内容が異なります)	3年
10/17～11/3	—	—	作文添削	3・4年	
11	3	木	4	講師登録説明会・特別支援学校説明会	4年
	10	木	4	作文対策講座②	3年
	24	木	4	今から始める進路選択(就職活動)	2年
	26	土	10時～14時半	就職模擬試験(SPI)+解説 ○試験/10:00～12:00 ○解説/13:00～14:30	3年
	11/21～12/1	—	—	作文添削	3・4年
12	12月上旬予定	—	—	教員採用試験公開模試 自宅受験	3・4年
	8	木	11時～15時	就職活動用写真撮影(8・9日いずれか1日)	3年
			4・5	面接対策講座・模擬面接	3年
	9	金	11時～15時	就職活動用写真撮影(8・9日いずれか1日)	3年
	12/12～22	—	—	作文添削	3・4年
15	木	4	就職活動のマナー・ルール・手紙	3年	
1	12	木	4	就職活動の進め方【実践編】(進路によって教室・内容が異なります)	3年

## 《美術学部・デザイン学部》

月	学年	講座内容	対象	
4	3年生・大学院1年生	第1回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(状況調査・現状と今後について)	美術学部・デザイン学部	
5	1年生	キャリアガイダンス(大学生基礎力調査Ⅰテスト説明会)	美術学部・デザイン学部	
	2年生	キャリアガイダンス(大学生基礎力調査Ⅱテスト説明会)	美術学部・デザイン学部	
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動における今後のスケジュール)	美術学部・デザイン学部	
		夏季インターンシップ<ガイダンス授業>・春季インターンシップ<事後研修>	インターンシップ参加者	
		夏季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者	
	4年生・大学院2年生	夏季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者	
4年生・大学院2年生	教員採用試験学内説明会	美術学部・デザイン学部		
6	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(就職活動の流れ・進路調査)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(就職適性・自己分析テストの実施)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座①)	美術学部・デザイン学部	
	4年生・大学院2年生	就職ガイダンス(就職リスタートガイダンス)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(ハローワーク説明会)	美術学部・デザイン学部	
7	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座②)	美術学部・デザイン学部	
		第2回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
		就職ガイダンス(ポートフォリオ対策講座③)	美術学部・デザイン学部	
			夏季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者
8 9	3年生・大学院1年生	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者	
		夏季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者	
9	3年生・大学院1年生	第3回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
		就職ガイダンス(就職活動の進め方・就職ナビの活用)	美術学部・デザイン学部	
10	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(求人の方見方、エントリーシートの書き方)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(エントリーシート攻略テスト)	美術学部・デザイン学部	
		就職ガイダンス(適性試験対策)	美術学部・デザイン学部	
11	2年生	キャリアガイダンス(進路選択に係る今後のスケジュール等について)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(美術デザイン業界・職種など)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(履歴書の書き方など)	美術学部・デザイン学部	
	3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト)	美術学部・デザイン学部	
		春季インターンシップ<ガイダンス授業>・夏季インターンシップ<事後研修>	インターンシップ参加者	
		春季インターンシップ<業種・職種・企業研究 実習エントリーシートの作成>	インターンシップ参加者	
		春季インターンシップ参加申込受付	インターンシップ参加者	
		就職ガイダンス(ポートフォリオのまとめ方)	美術学部・デザイン学部	
12	1年生	キャリアガイダンス(学内講演会①)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(学内講演会②)	美術学部・デザイン学部	
		キャリアガイダンス(学内講演会③)	美術学部・デザイン学部	
	2年生	キャリアガイダンス(今の自分について考えてみよう)	美術学部・デザイン学部	
		3年生・大学院1年生	就職ガイダンス(SPI模擬試験テスト説明会)	美術学部・デザイン学部
			就職ガイダンス(面接試験対策)	美術学部・デザイン学部
			就職ガイダンス(ビジネスマナー講座①)	美術学部・デザイン学部
就職ガイダンス(ビジネスマナー講座②)	美術学部・デザイン学部			
		学内企業説明会期間	美術学部・デザイン学部	
1 3	3年生・大学院1年生	第4回 就職支援・資格取得講座 受付	講座受講希望者	
		春季インターンシップ<ビジネスマナー講座(事前研修)>	インターンシップ参加者	
		学内企業説明会期間	美術学部・デザイン学部	
		各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者	
		春季インターンシップ研修実施	インターンシップ参加者	
4	3年生・大学院1年生	就職活動オリエンテーション(新4年生)	美術学部・デザイン学部	
5	3年生・大学院1年生	春季インターンシップ<フォローアップ授業(事後研修)>	インターンシップ参加者	

## 《人間発達学部》

月	日	曜日	時	講 座 内 容	対 象	
4	3/29～4/13	—	—	就職模擬試験(第2回教員採用試験模擬試験)	4年・教員希望者	
	4/11～22	—	—	作文添削(4/11～22)	4年	
	14	木	4	～就職活動について～(内容が異なるため学部別でガイダンス)	4年	
	21	木	11時～15時	就職用写真撮影(21日・22日いずれか1日)	4年	
			4・5	～面接対策講座(総まとめ)・模擬面接～	4年	
22	金	11時～15時	就職用写真撮影(21日・22日いずれか1日)	4年		
5	5/6～12	—	—	就職模擬試験(第3回教員採用試験模擬試験)	4年・教員希望者	
	5/9～20	—	—	作文添削(5/9～20)	4年	
	12	木	4	公務員試験説明会(保育職)	4年	
			5	～愛知県外学生就職説明会(幼稚園・保育所)～	4年	
	19	木	5	4	教員採用試験学内説明会(教員希望者・5限は受験地へ分かれる)	4年・教員希望者
				愛知県教員採用試験説明会	4年・教員希望者	
				名古屋市教員採用試験説明会	4年・教員希望者	
岐阜県教育委員会採用試験説明会				4年・教員希望者		
三重県教育委員会採用試験説明会	4年・教員希望者					
26	木	4	第2回キャリアガイダンス ～自分でみつかる、未来の自分～	1年		
6	2	木	4	～卒業後の進路について～(学部で内容が異なります。指定教室に出席)	3年	
	6/6～17	—	—	作文添削(6/6～17)	4年	
	8	水	5	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※8・10日いずれか1日で受験	3年	
	9	木	4	第1回キャリアガイダンス ～これまでの自分、これからの自分～	2年	
			愛知県私立幼稚園連盟統一試験学内説明会	4年		
	4・5	～なりたい自分と社会とのつながり～(4・5限同内容、いずれかに出席)	3年			
	10	金	5	自己分析検査(CAREER APPROACH) ※8・10日いずれか1日で受験	3年	
	15	水	5	就職模擬試験(第1回一般常識) ※15・17日いずれか1日で受験	3年	
	16	木	4	第2回キャリアガイダンス ～個性発見!可能性を広げよう～	3年	
	17	金	5	就職模擬試験(第1回一般常識) ※15・17日いずれか1日で受験	3年	
23	木	4・5	～社会で求められる力とは～(4・5限同内容、いずれかに出席)	3年		
30	木	4	私立幼稚園教員採用説明会(PRキャラバン隊)	4年		
		4・5	～自己表現講座～(4・5限同内容、いずれかに出席)	3年		
7	14	木	4	～CAREER APPROACHの解説～(学部で内容が異なります。指定教室に出席)	3年	
	21	木	4・5	～一般常識試験対策講座～ (第1回一般常識模試の解説 4・5限同内容、いずれかに出席)	3年	
9	29	木	4	就職活動の進め方【基礎編】(進路希望によって教室・内容が異なります)	3年	
10	6	木	4	後期からの大学生活の進め方	1年	
				作文対策講座①	3年	
	13	木	4	履歴書の書き方(進路によって内容が異なります)	3年	
10/17～11/3	—	—	作文添削	3・4年		
11	3	木	4	講師登録説明会・特別支援学校説明会	4年	
	10	木	4	作文対策講座②	3年	
	17	木	4	公務員採用試験説明会(保育職)	3年	
	24	木	4	今から始める進路選択(就職活動)	2年	
	26	土	10時～14時半	就職模擬試験(SPI)+解説 ○試験/10:00～12:00 ○解説/13:00～14:30	3年	
	11/21～12/1	—	—	作文添削	3・4年	
12	12月上旬予定	—	—	教員採用試験公開模試 自宅受験	3・4年	
	8	木	11時～15時	就職活動用写真撮影(8・9日いずれか1日)	3年	
			4・5	面接対策講座・模擬面接	3年	
	9	金	11時～15時	就職活動用写真撮影(8・9日いずれか1日)	3年	
	12/12～22	—	—	作文添削	3・4年	
15	木	4	就職活動のマナー・ルール・手紙	3年		
1	12	木	4	就職活動の進め方【実践編】(進路によって教室・内容が異なります)	3年	

## ■2010年度 音楽学部進路状況

2011年5月1日現在

		演奏		音楽文化創造		合計		総計	
		男	女	男	女	男	女		
就	教職関係	公立学校教員	0	0	0	1	0	1	1
		公立学校非常勤講師	0	4	2	3	2	7	9
		公立学校非常勤講師	0	3	0	1	0	4	4
		公立学校介護員	0	0	0	0	0	0	0
		私立学校教員	0	1	0	1	0	2	2
		私立学校非常勤講師	0	0	0	0	0	0	0
		私立学校非常勤講師	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	8	2	6	2	14	16	
就	福祉関係	福祉施設等	0	1	1	6	1	7	8
	小計		0	1	1	6	1	7	8
職	音楽講師	ヤマハ・カワイ講師	1	3	0	1	1	4	5
		楽器店講師	0	2	0	0	0	2	2
		自宅教室(ピアノ)	0	1	0	0	0	1	1
		自宅教室(他)	0	1	0	0	0	1	1
		幼稚園・保育所	0	0	0	0	0	0	0
	小計		1	7	0	1	1	8	9
	音楽家	奏者(フリー)	1	3	6	12	7	15	22
ミュージカル・アーティスト		0	0	0	0	0	0	0	
小計		1	3	6	12	7	15	22	
一般企業		2	9	4	8	6	17	23	
各種団体等		0	1	0	1	0	2	2	
小計		2	10	4	9	6	19	25	
公務員	行政職	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	
合計		4	29	13	34	17	63	80	
進学	大学院	1	7	1	1	2	8	10	
	研究生	0	10	1	2	1	12	13	
	海外(留学)	0	0	0	1	0	1	1	
	その他(大学・専門等)	1	5	4	2	5	7	12	
合計		2	22	6	6	8	28	36	
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	5	1	5	1	10	11	
	その他	1	6	2	7	3	13	16	
合計		1	11	3	12	4	23	27	
活動中(調査中)	講師登録・その他	0	7	0	8	0	15	15	
合計		0	7	0	8	0	15	15	
総合計		7	69	22	60	29	129	158	

卒業生数	7	69	22	60	29	129	158
就職・進学希望者数	6	58	19	48	25	106	131
就職・進学者数	6	51	19	40	25	91	116
就職・進学率	100%	88%	100%	83%	100%	86%	89%
		89%		88%		89%	

## ■2010年度 美術学部進路状況

2011年6月30日現在

		絵画				造形		美術文化		合計		総計
		日本画コース		洋画コース		男	女	男	女	男	女	
		男	女	男	女							
就	一般企業	製造業(印刷関連)	0	0	0	2	0	0	0	0	2	2
		製造業(その他美術関連)	0	2	0	0	1	0	0	0	1	2
		小売業	0	1	0	3	0	1	0	0	0	5
		サービス業	0	5	1	5	1	0	0	1	2	11
		その他業種	1	3	0	2	0	1	0	0	1	6
		作家活動	0	7	7	10	1	3	0	0	8	20
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計		1	18	8	22	3	5	0	1	12	46
	教職関係	公立学校教員関係	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
		私立学校教員関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	0	0	6	0	0	0	0	0	6	
公務員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		1	18	8	28	3	5	0	1	12	52	
進学	大学院	1	1	3	6	4	2	0	1	8	10	
	研究生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	海外(留学)	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	
	その他(専門)	0	0	0	2	0	1	1	0	1	3	
合計		1	1	4	8	4	4	1	1	10	14	
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
	その他	0	1	0	1	1	1	0	2	1	5	
合計		0	2	0	1	1	1	0	2	1	6	
就職活動中	講師登録・その他	0	1	0	1	0	1	1	0	1	3	
合計		0	1	0	1	0	1	1	0	1	3	
総合計		2	22	12	38	8	11	2	4	24	75	

卒業生数	2	22	12	38	8	11	2	4	24	75	99
就職希望者数	1	19	8	29	3	6	1	1	13	55	68
就職者数	1	18	8	28	3	5	0	1	12	52	64
就職率	100%	94.7%	100%	96.6%	100%	83.3%	0.0%	100%	92.3%	94.5%	94.1%
		95.0%		97.3%		88.9%		50.0%	94.1%		

■2010年度 デザイン学部進路状況

2011年6月30日現在

		3B						LS		合計		総計		
		MAC		P&S		Cr		男	女	男	女			
		男	女	男	女	男	女							
就	一般企業	製造業(印刷関連)	3	10	1	0	0	0	0	2	4	12	16	
		製造業(その他美術関連等)	4	10	0	1	0	4	0	0	4	15	19	
		小売業	1	4	0	0	1	4	0	1	2	9	11	
		サービス業	0	11	0	0	0	1	1	3	1	15	16	
		その他業種	0	10	7	8	0	2	1	0	8	20	28	
		作家活動	14	32	2	3	3	9	3	2	22	46	68	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	22	77	10	12	4	20	5	8	41	117	158		
	職	教職関係	公立学校教員関係	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2
			私立学校教員関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2		
公務員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計	22	78	10	12	4	20	6	8	42	118	160			
進学	大学院	2	1	0	1	0	3	0	0	2	5	7		
	研究生	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	5		
	海外(留学)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他(専門)	0	1	0	1	0	1	1	0	1	3	4		
合計	2	7	0	2	0	4	1	0	3	13	16			
就職希望なし	結婚・家事・自宅	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1		
	その他	0	4	2	2	1	4	1	2	4	12	16		
合計	0	4	2	2	1	5	1	2	4	13	17			
就職活動中	講師登録・その他	0	1	1	1	0	1	0	0	0	3	0		
合計	0	1	1	1	0	1	0	0	1	3	4			
総合計		24	90	13	17	5	30	8	10	50	147	197		

卒業生数	24	90	13	17	5	30	8	10	50	147	197
就職希望者数	22	79	11	13	4	21	6	8	43	121	164
就職者数	22	78	10	12	4	20	6	8	42	118	160
就職率	100%	98.7%	90.9%	92.3%	100%	95.2%	100%	100%	97.7%	97.5%	97.6%
		99.0%	91.7%	96.0%		100%		97.6%			

■2010年度 人間発達学部進路状況

2011年5月1日現在

		子ども発達学科		総計	
		男	女		
		就	教職関係		公立学校教員
公立学校常勤講師	7			8	15
公立学校非常勤講師	4			5	9
公立幼稚園教員	0			1	1
私立学校教員	0			0	0
私立学校常勤講師	0			0	0
私立学校非常勤講師	0			0	0
私立幼稚園教員	1			22	23
小計	16		37	53	
職	福祉関係		公立保育所(正職)	1	10
		公立保育所(臨職)	5	10	15
		私立保育所	2	29	31
		福祉施設(保育士等)	2	7	9
	学童保育所(クラブ)	0	0	0	
小計	10	56	66		
一般企業	3	5	8		
各種団体等	0	0	0		
小計	3	5	8		
公務員	行政職	0	1	1	
小計	0	1	1		
合計		29	99	128	
進学	大学院	1	0	1	
	研究生	0	0	0	
	海外(留学)	0	0	0	
	その他(大学・専門等)	3	0	3	
合計	4	0	4		
就職・進学希望なし	結婚・家事等	0	0	0	
	その他	0	6	6	
合計	0	6	6		
活動中(調査中)	講師登録・その他	11	5	16	
合計	11	5	16		
総合計		44	110	154	

卒業生数	44	110	154
就職・進学希望者数	44	104	148
就職・進学者数	33	99	132
就職・進学率	75.0%	95.2%	89.2%

## 先輩の活躍

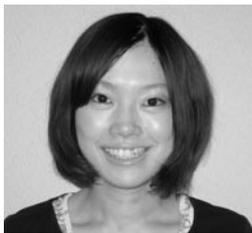


### 一つひとつの「出会い」を大切に

2010年度 音楽学部 演奏学科  
音楽コース卒業

水田麻美

私は、静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」、ホール・会議室・練習室等がある総合文化施設で働いています。私の業務は貸館担当の部署で、お客様と会館との架け橋をしています。業務内容は、予約受付、ホールの打ち合わせ、お客様との相談、公演・会議等、当日の催事が無事終了するまでのサポートをする仕事です。



就職した当初、新入社員は私一人であり、すべてのことが初めての経験であるため、とても不安でした。学生時代は受取ることが多く、渡すことのなかった名刺交換、慣れない電話での対応、未経験な打ち合わせなどです。特に私は今までの日常生活で敬語・尊敬語を上手く使って対応することが苦手で、お客様へお問い合わせの回答に時間を要することが多々ありました。もちろん、

今でも覚えなければならないことは多種多様であり、机の上には付箋があちこちに貼られています。自分の力のなさに「へこんでしまう」ことも度々。それでも、先輩方は「新人はわからなくて当たり前。今のうちにたくさん質問して覚えていけばいいよ。」と励ましながら、とても優しく丁寧に教えて下さり感謝しています。私自身「新人が自分一人であることから、たくさんのことを教えてもらえるのだ。」と思い直すようになりました。わからないことは曖昧にするのではなく、自ら進んで質問をし、解決するように心がけています。

「グランシップ」で働き始めたことで、今まで関わったことのない様々な職種の方々と接し、学生生活では経験したことのない色々な考えに触れることができるようになりました。今まで体験したことのない音楽や芸術に触れる機会も増え、そこから「学ぶ」こと、「得る」ことは多いです。そして、一つひとつの「出会い」がとても大切。今では、より多くの人と関わり、話をしたいと思うようになってきました。これからも、与えられたチャンスには積極的にチャレンジして「自分の力」にしていきたいと思えます。

(静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ  
利用サービス課 勤務)

### 美術で養った感性を社会で活かす

2010年度 美術学部 美術文化学科  
芸術学コース卒業

坪井香徳

私は今、カーディーラーのフロアスタッフとして働いています。フロアスタッフの仕事は主に店舗に来店されたお客様のおもてなしや店内の装飾、イベントの実施などの店舗管理です。

店舗ではフロアスタッフ、営業、メカニックが相互に連携を取ってお客様のサポートをしており、お客様のご用命に合わせてフロアスタッフが各担当につながります。しかし、担当の不在時や急を要するときなどはフロアスタッフで対応をしなければならない場合があるため、取扱車種の知識はもちろんメカニックが行う専門的な整備の知識まで幅広く備えておく必要があります。

今はまだ慣れない仕事にもたついてしまったり覚えることが山積みになってしまったりしていますが、仕事の習得度や知識量がそのままお客様への対応に影響をもたらしてしまうということを頭において一日一日を大切に過ごしています。

私は美術文化学科の芸術学コースに在籍していました。この学科で学ぶ博物館学や美術史とフロアスタッフの仕事とは一見すると無関係に思えます。しかし、私はこの学科で学んだことがカーディーラーに展示される車とお客様の出会いの瞬間をプロデュースする力につながると考えました。



学芸員には、美術作品を研究しその作品の性格や良さを知ることや、展覧会という鑑賞者との出会いの場所で作品をより良く見せるといった仕事があります。これはフロアスタッフが行う店舗管理に似ているところがあります。店舗に配属されてからまだ日が浅く上記の力を十分に発揮することはできていませんが、大学で養ってきた美術的な感性を少しも疎かにすることなくこれからも仕事に取り組んでいきます。

(ネットトヨタ東名古屋株式会社 店舗勤務)



## 「自由な時間」の使い方

2010年度 デザイン学部 デザイン学科  
プロダクト&スペースブロック卒業

古田雅俊

やりたい事はいつでもできる、そう思っていたのは大学2年の時でした。その頃は授業の殆どが午後から、水曜日は逆に午前だけでその他の時間は何の強制もなく、自分にとってとても自由な時間でした、友達と喋ったりゲームをしたり好きな時に好きな事をして、思い出の大半を占めるテニス部にもこの頃から顔を出し始め、好きなことが好きなときにでき新しい出会いもある、とても『楽しさ』の充実した時期でした。しかし今になって振り返ってみると、好きなことだらけのその中にどれだけ多く『新たな挑戦』をすることができていたのか、唯一そこが満足のいかない点となりました。

というのも、大学を卒業し社会人として働き始めてもう半年近くなります、そんな日々の生活の中でふと考えるのは自分にとっての『自由な時間』です、行きたい場所ややりたいこと知ってはいたけど見向きもしなかったものなど、時間が上手くとれないが為にできない、仕方がないのでどこかにメモしてまいたつか。

かといって大学生の時にできたかと言われればそれもまた難しく、遠いところだったりお金がかかったり、大学にはそういうものの支援になるようなものもいくつかあった気がします、やっぱりそれだけでは辛いものもあり、最終的には保護者の支援や友達の協力などが必要でした。

卒業生として特に残す言葉はありませんが、大学生活4年間どんな過程を過ごしても、卒業すれば何か自分のプラスになったものがあるはずで、そのために色々なことに挑戦することが必要で、更にそれにより大学生活をより充実させることに繋がると思いました。

そしてその1つとして、テニス部もオススメです。

## 子ども達と共に成長していく

2010年度 人間発達学部  
子ども発達学科卒業

青木竜太

私は尾張旭市の三郷小学校で、3年生32人の担任をしています。4月から教員としてスタートし、すでに5ヶ月が経ちました。まだまだ仕事のペースが掴めず、教材研究や月ごとの行事に追われる日々を送っています。あまりの忙しさに正直一杯の毎日ですが、教師という仕事にやりがいを感じながら、クラス子ども達と元気に過ごしています。

小学校の担任はどの教科も全て自分で指導できなければいけません、私は図工と音楽だけは専科の先生に指導をお願いしています。その他の教科を全て担任1人で担うことは大変です。板書計画に課題プリントの作成、発問のタイミングなど、少しでも子ども達に分かり易い授業をしたいと思うと、勤務時間内だけではとても時間が足りません。その準備で帰宅が午後10時・11時になり、終電に駆け込むことも多々あります。そこまで準備に時間をかけても、実際の子どもの相手に授業をすることは難しく、毎日が失敗と反省の繰り返しです。その度に自分の研究不足や指導力のなさに胸が苦しくなります。そんな時、先輩の教員の方に助言をいただきながら、他の先輩教員の授業を見学しています。そして一つひとつ自分の課題を解決しながら教員としての力量の向上に努めています。

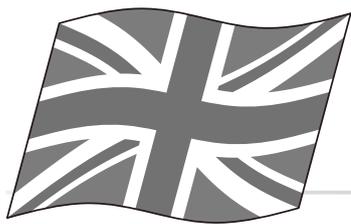
授業はもちろんのことですが、生活面での指導も大切です。子ども達は友達や教師との触れ合いの中で人と

の関わり方や生活のルールを学んでいきます。「子どもは教師を写す鏡」という言葉があります。気がつけば話し方の癖や注意の仕方まで似てきますので、常に担任は良き見本でなければなりません。教師になってから自分の普段の振る舞いや言葉遣いなど、今まで気にも留めなかったことを意識するようになりました。けれども、癖はつつい出でしてしまいます。子どもの前だけで意識して直すのではなく、日常生活のなかでも人間としてもっと成長しなければいけないと強く感じます。その意識が希薄になれば、自分ができていないことを、子どもに自信を持って指導できません。

冒頭にも述べましたが、教師というのは本当に多忙です。しかし、それを苦に思ったことはありません。まだまだ教師として社会人としても不甲斐ない私ですが、「先生!」と呼んでくれる子ども達がいるかぎり、子どもの気持ちに寄り添い、これから共に成長していける教師でありたいと思います。

(尾張旭市三郷小学校 勤務)





University of Brighton  
Degree Show

## Brighton University デイグリーショーに参加して

後援会会長 佐藤俊明

6月1日から6月7日まで、後援会を代表して Brighton University のデイグリーショーに参加させて頂きました。

6月1日、セントレア空港で待ち合わせた橋本副学長と溝口教授と合流すると、一路イギリスを目指して飛び立ちました。搭乗したフィンランドエアは、ヘルシンキを経由してロンドンのヒースロー空港に到着しました。日本の震災の影響があるのか利用客が少なく、客室は意外なほどガラガラでした。

現地に到着すると、当地で長年デザイナーとして活躍している河野先生に出迎えて頂き、さっそく Brighton に向かいました。

Brighton という街はイギリスの南端に位置し、ロンドンからも近いリゾート地です。美しい海岸と街中にはオシャレなレストランやショップがいっぱい並ぶ快適で楽しい観光地です。



Brighton の街並み

到着翌日の朝、さっそく Brighton University の校舎を訪れるわけですが、玄関のロビーで最初に目に付いたのはたくさんの折鶴のつるされたショウケースでした。

日本の大震災の義捐金を募るコーナーが大きく設けてあったのです。日本のことを思ってくれているこの大学の関係者、学生さん達に深い感謝の思いが湧いてきました。

生徒さん達の代表的作品の説明を受けながら順番に見て回りましたが、レベルの高い力作が多く、取り組みの真剣さや情熱が伝わってきました。

ファッションショーの様子

また、担当教授も各作品のモチーフや制作の経緯なども詳しく把握していらっしゃるところに、教える側の気持ちの入れようも感じられてとても好感を持ちました。

翌日からは各種のレセプションが催されました。

大学を取り巻く各界の関係者が集まる中、市長ご夫妻もイギリスらしい荘厳な首飾りをまとって参加されました。日本から来た我々一行も紹介され、一緒に記念写真を撮らせて頂きました。それを通して Brighton University がこの街にとって、とても重要な文化の拠点と発信地になっているのを感じました。

受賞学生と

授賞式の会場では各種の表彰の中でも一番最後を締めくくる形で我校からの表彰と記念品の授与が行われました。最初に後援会を代表して拙い英語で私が、そして、橋本副学長、溝口教授の流暢で気合のはいった英語のスピーチには会場に大きな拍手が鳴り響きました。

三人三様の表現で、スピーチの中に大震災に対する英国民と Brighton University の方達の暖かい支援に謝意を表せて頂いたわけですが、とても感動したとの感想を後ほど学生さん達から聞かせていただき、誠意が伝わったことをうれしく思いました。



その後のファッションショーもプロのモデルさんを使った本格的なもので、大変先進性を感じる素晴らしいものでした。

最終日、一日だけロンドン観光をしてイギリスの伝統と美的感性の高さを実感しながら、帰路につきました。

# International Student Infomation

## 東キャンパス 「留学生ウェルカムパーティー開催さる」

このところ恒例になっている東キャンパスにおける留学生ウェルカムパーティーが去る6月15日(水)に2号館ロビーにて開かれました。韓国、中国に加えて短期留学生としてアメリカからの2名も加わり、華やかな催しになりました。

冒頭、竹本学長から、皆さんご承知のとおり東日本ではとても大きな災害が発生し、今尚、復旧作業が続いておりますが、名古屋は距離的にもかなり離れており、決して皆さんの研究活動に支障がでるようなことはありません。どうか安心して学業に勤んでくださいという主旨の挨拶があり、久保田音楽文化創造学科長からもせっかく日本へ来た以上、

ゆっくりと楽しく勉学にあたってくださとのメッセージが送られました。

その後、各留学生より自己紹介が行われましたが、今回は殆どの留学生が日本語で話し、終始明るい雰囲気のうち楽しいひと時があったという間に過ぎました。日本語での自己紹介ではありましたが留学生のそれぞれはしっかりと自国の誇りと自信をもって来日し、皆さん音楽という共通分野にひたすら取り組んでいる姿が垣間見えました。皆さんの将来に幸多かれと祈って止みません。

東キャンパス 学生支援課  
国際交流センター 渡辺久男

## 西キャンパス 「交換留学生ウェルカムパーティーは大盛会」

去る3月11日(金)に東日本大震災が発生した。大地震に津波に更には嘗ては安全だと言われ続けた原発は福島原発大事故も重なり鋭い傷跡・爪痕を残し今も尚『復旧』に向け専念し懸命となっているものの中々目に見えて癒えていない。

広くのどかな大地をも容赦なく根こそぎ嘗め尽くし呑み込んで全てのものが物凄い力で引き摺られて寄せられて何もなくなった儘を露呈している。そんな中に日本へのNUAへの留学を拒む希望者も出てきた。随分と来日するのを楽しみにしていた人もInternetで知る刻々とした被害地区の有様と対峙して家族や送り出す側大学関係者はNUAへの留学にきっと心を痛めたことだろう。此の状況のなか日本以外の国に留学をしたいと考えた人もいただろう。

最終的に来日は最愛の家族や大学関係者と充分話しあって留学を決定している。何時もなら沢山の留学生が来日して来るが此の悲惨な状況を察して英国ブライトン大学より3女子学生と独国ブレーメン美術大学より選り日本人に近い繊細な感覚で2年で日本語を覚えた自信満々の1女子学生が来日した。英国ファルマス芸術大学、仏国ディジョン美術大学からは土壇場cancelがされた。

毎年4月末に実施してきた恒例のウェルカムパーティーは少数が故に泣く泣く流会とし7月8日(金)より開始の『前期来訪交換留学生作品展』と『洋

画2コース選択選抜展』との合同展に照準を合わせて此処で改め『Opening Party』に併せて、こんな状況にもめげず進んでNUAに遣って来た4女子留学生を称えて『Welcome Party』も実施した。和田義行国際交流センター長の音頭で乾杯。

前日7月7日(木)の作品搬入と飾り付けには留学生のsupportも含めて全体を見回して手助けできる範囲には精一杯協力をした。Openingでは留学生は事前に学んだ日本語をよく練習をして其の意味も良く理解していて、ゆっくりと静かに丁寧に語りかけ訴える感じで自分の作品を紹介し溢れんばかりの沢山の入場者からの大喝采を得た。

会期中留学生と洋画学生は受付を守り細やかかなりとも此処で国際交流が出来たのではないかと想います。

初日8日(金)は143名中(51名)、9日(土)30名(13名)、11日(月)61名(20名)、12日(火)86名(24名)、最終日13日(水)は90名(21名)で『総入場者数は410名』留学生専用『芳名録』に於いては129名もの元気づける記載があり感動をさせられた。洋画2コース選択選抜展(須田真弘准教授)のご指導の許に予想もし得なかった入場者を戴き感謝一杯です。

『合同展』を通して留学生にとっても毎日感謝の展覧会だったかと想います。

西キャンパス 学生支援課  
国際交流センター 川島憲雄

## 親の想い

### ちょっと脳内をのぞいてみましょう

デザイン学部 デザイン学科  
3年 母 北川広子

娘は小さい頃ディズニーのビデオが大好きで、その中でも「不思議の国のアリス」は気に入っていたようで、おそらく100回は観たのではないかと思うほど観ていました。

小学校の時、先生から「ゆきちゃんの絵はとても色がきれいですね」と言われました。実はディズニー映画が大好きで、と言ったところ「ああ、なるほど」となぜか妙に納得されたのを覚えています。

この子の中ではディズニー映画がかなり蓄積されている。これは何かを表現するのに向いているのかも私は娘の中の何かを見つけた気でおりました。そして高校はデザイン科を勧め、大学は名芸に決めました。しかし、最近娘に「子供が好きで保育さんになりたいと思っていた」と言われ、そんなこと全然知らなかった！と愕然としました。今まで私がこうしたらどうだろう？と提案したことに対し、娘は特に異を唱えることなく来ていたのです。

脳内をパーセンテージで示す小栗旬のコマーシャルがありますが、あんなふうにだいたいでもいいので子供の奥深い心情を知られたら助かります。情けない親です。それでも娘からこの状況がイヤだとか我慢ならんということは聞いたことがないので、まあそんなこともあるだろう、迷いのない人生なんてないぞと勝手に思っております。

今、娘は課題で作品だけでなくグループで仕事を進めるということの大変さを学んでいるようです。これは、言って理解できるものではなく、経験して初めてわかることではないでしょうか。大勢で物事を進めるには何が必要か？簡単にはわからないことですが、相手の立場や環境に思いを巡らせ、お互いが信頼できた時、作品にも何かしら反映されるのではないかと思います。相手の心情を理解するのは難しい、だけど理解したいという誠実な気持ちはおそらく何らかの形で相手に伝わるのでは。

脳内を知ることができたら楽ですが、様々な勘違いを克服して人間関係は出来上がっていくのかなとも思います。

### 継続は力なり！なる様になる！

デザイン学部 デザイン学科  
1年 母 今井良美

今春、我が家の次女が“憧れ”の芸大生になって、早や半年になるうとしています。振り返ってみると、何かしらの形で「絵」に親しんできた子供だったと思います。

入園前は折込みチラシの裏にお絵かき、ピカソも顔負けの大胆な絵でした。

幼稚園は良くいえば「子供の自主性を重んじる」悪くいえば「放し飼い」が方針の幼稚園です。そんな幼稚園で彼女は毎日のように絵を描いていた様です。園から帰ってきた娘の手や服はもちろん、足や顔にも絵の具がついている事がありました。

先日、幼稚園の年中組の担任の先生に偶然お会いし、娘が芸大生になったことを報告すると、「ああ、滞ちゃんならきっとそうなるでしょうね。」と素直に納得されて喜んで下さいました。

中学時代、高校の進学先を選ぶ時期になった時に、娘から「私はこの高校に行きたい」と示されたのは岐阜県内には数少ないデザイン科のある多治見工業高校でした。その頃既に彼女の中ではある程度進みたい道が決まっていたようです。それに向けて今まで彼女なりに目標を持って努力してきたし、この先も常にチャレンジしていつてくれると思います。

大学の4年間もあつという間に過ぎてしまうと思います。多くの事、多くの人に出会い様々な事を学び、ますます成長してほしいと思います。

私は「継続は力なり」という言葉と「なる様になる」という言葉が好きです。目標に向けて決して折れずに努力していけば、きっとうまくいく。たとえ結果が目標とは異なる方向になってしまっても、悔いが残らないよう何が必要か何をすべきか考えながら進んでほしいと思います。私達は見守っていこうと思っています。



# 子の想い

## 大学生になって

音楽学部 演奏学科 声楽コース  
3年 小島結美子

私は音楽、特に歌が大好きです。いつか本格的に勉強したい！そう思ってこの大学に進学しました。しかし、実は高校3年生の6月まで、自分が音楽大学に進学するとは思いませんでした。

私は大学に入るまで、近くに声楽を教えていらっしゃる先生がいませんでした。ですから専門の先生に大学進学まで習ったことがありません。なので高校卒業後、一度は別の大学に進学して、専門の先生を探して、それから改めて音楽大学に進学しよう、と、かなり遠回りをしようとしていました。

それが現役でここ、名古屋芸術大学に進学することが出来たのは、6月のオープンキャンパスで一人の先生に巡り会うことが出来たからです。オープンキャンパスに来た時、公開レッスンをしていると聞き、入ってもいいだろうか、一体どんな内容なんだろうかと、不安なような、楽しみなような、そんな気持ちで参加しました。

その時の先生に高校卒業後の進路を聞かれ、いずれは音大に入りたいが、今まで専門的な勉強をしていないので…と、半ば諦めたように答えました。しかし、その先生が受けてみれば良いと背を押してくれたのです。その一言があって、私は進学を決意する事が出来ました。今でもその巡り合せに感謝しています。

白紙の状態の私にとって、授業の殆どが新鮮なものでした。知らなかった事、わからない事がほとんどで、戸惑うことが多々ありました。それでも、私は音楽がとっても好きで、毎日充実した学生生活を送れていると思っています。

私はこの大学で生活出来て、とても嬉しいです。



## 成長する学び

デザイン学部 デザイン学科  
3年 土屋花琳

美術大学への進学を決め、放課後と長期休暇の美術系塾通いを1年間頑張り、名古屋芸術大学に入学して、早くも3年生になってしまいました。必修単位数の多さに驚きと不安を抱いた1、2年生でしたが、履修単位数が増え、このころは余裕さえできてきました。自分の取りたい授業の選択の幅が増える事はうれしい限りです。

しかしその余裕と裏腹に残り数少ない学生生活で、自分をどれだけ成長させられるかを考えなくてははいけません。

この3年間は本当に多くの事を学び、体験しました。ある教職科目では教育現場の現状から3・11東日本大震災の経過を学んだり、メディア選択コースへ進んだ3年生では「映像」や「雑誌」のグループ制作が多く行われ、仲間同士のコミュニケーション、連携や団結の難しさなど、多くが身に沁みる事となりました。

学校生活外ではフランスで文化の違いを肌で感じる機会を作ることでもできました。わずか半月の旅でしたが、顔、体、言葉や食事、生活習慣、地球の広さを感じました。滞在中は観光名所、美術館を巡り、名画や彫刻、建築物等を数多く鑑賞でき、自分の感性の幅が広がられたと思います。これらすべての経験が名古屋芸術大学に入学したからこそできたことであり、そのチャンスを与えてくれた家族や友人、ご指導頂いた教員の方々、先生方に深く感謝しています。

これから教育実習やインターンシップ等、まだ経験した事のない体験が待っています。そこでは、今までの経験値を生かし「成長する学び」を目標とします。時間を無駄にしないよう、したい事、できる事、今しかできない事、今を精一杯に過ごせるよう、日々もう少しの努力をして行きます。卒業制作では4年間の集大成を完成させたいです。



## クラブ・同好会紹介 (東キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	KARADA研究会(部費なし)	音楽科・ピアノ科・総合各々の演奏に必要なパフォーマンスの筋力を鍛える為。
2	ジャズ研究会	個々の楽器を持ち寄り、他人とセッションすることでスキルアップを図る。
3	JAMPA SWING ORCHESTRA	日々のトレーニングから楽器のスキルアップを図り、その結果として定期的なライブ活動を行なう。また、団体行動を通して協調性、社会的モラル、マナーなどを身につけ、心身・技術ともに向上することを目的とする。
4	ピンポン☆ダッシュ	卓球を通じて人間関係の輪を広げて、楽しく卓球をする。
5	フットサル部(部費なし)	フットサルを通して友情を育み、体力作りをすることで実習に耐えられる体力を養っていくことや、純粋にフットサルを楽しむことが目的です。
6	フラワーショットテニスクラブ	テニスを通し、他学科・他学年との交流を深めるとともに、心身を鍛え、テニスを楽しみ、人間的に成長すること。
7	ミュージックボランティア	大学での授業の実習以外での音楽・音楽療法活動をする。
8	子ども文化サークル	児童館で人形劇を行い、子どもとふれあい、子どもの接し方や、自分たちの今後の活動に自信をつけるため。
9	自然と暮らしを楽しむ会	都会での人工的な生活に慣れて、人間の生活は自然の営みに支えられていることの実感を見失いがちになっています。今ならまだ身近にも発見できる、自然の不思議さ、逞しさを実感し、自然の恵みによって私たちの命と生活が成り立っていることを体感することができます。自然についての知識や技術を沢山たくわえ、次世代にも伝えていきます。
10	爆音楽部	大学生活をより楽しく過ごすため。
11	バスケットボールZ(B・B・Z)	バスケットボールを通して、様々な学部や他大学のチームなどと交流を深めることや、その中で、経験を積み自分達の技術を磨くことを目的とする。
12	ルーディメンツクラブ	インターナショナルルーディメンツ、コンテンポラリーハイブリッドドラムルーディメンツ等のあくまでも基本形を習得し、個々に対してのより合理的な奏法を確立することにより、表現の幅を広げ音楽の自立を目指す。
13	和太鼓部	近隣の幼稚園や保育園、地域の祭などで演奏させていただき、その中で交流を深めることで、和太鼓の楽しさを少しでも多くの人々に伝えられるように精進して練習に励むため。
14	ワンダーフォーゲル(部費なし)	自然に親しみ、キャンプなど野外活動を通じ器具の安全な使い方、自然との付き合い方を学び、ネイチャーゲームの資格取得も目指していく。
15	Dance Circle	踊ることで、身体を動かしたり、仲間と一つのものを作り上げる達成感を味わう。ダンス初心者の子にも、踊ることの楽しさを感じてもらおう。
16	すくらん部	赤十字社と交流を深めながらボランティアに参加する。主に名古屋第二赤十字病院の小児病棟へのボランティアや、献血の呼びかけ・募金などに参加し、個人の知識や技術を高めしていくことを目的とする。
17	リズム体操部	「動いて、創って、指導して」をモットーに日々、自分自身の身体作りをしながら体操やラートなどの演技や作品づくりをし、大会等で発表や指導をしながら、各自の動く技術や指導力を高めることを目的とする。
18	中音部	バンド活動、学内外での音楽・ライブ活動を通じて、音楽を楽しむ。
19	冒険KID'S	自然豊かな岐阜県郡上八幡で春夏秋冬を通し、小学生に自然とふれあう事の楽しさを伝え、一緒に学び、遊びながら「楽しく」「安全に」「予定通りに」サポートスタッフとして勤め、私たちが目指す将来に役立つ「何か」を学びとる。
20	人間発達学部吹奏楽部 Noise band	学校行事には積極的に参加をし、保育所や幼稚園などにも行き、子どもたちに音楽の素晴らしさを伝えて生きたいと思えます。
21	自由工房	個々で作品を作り、一般公募のコンクールに応募すること。また、様々な児童館や、コミュニティセンターへ行き、季節に合ったもの、または子ども向けの壁面を構成したり、クラブ教室を行なう。
22	N o i r	服という常日頃から接するものを使ってショーを行なうということを通じて、他学部・他学年との交流を図る。また、外部のコンテストなどにもエントリーし、他大学や専門学校の人たちとも交流を図る。
23	女子スポ同好会	他学年との交流を深めるため、バスケットボールを主に行い、日ごろの運動不足を解消するため。
24	バレーサークル	バレーボールを行い、他学年との交流・運動不足の解消をはかるため。
25	イルカナ	インタラクティブなコンテンツの製作。また、これを達成する為に必要な技術を習得すること。作成する為に必要な人材を確保し、コンテンツ製作のハードルを下げ、作成基盤としての場を提供すること。
26	ウィンタースポーツ	私たちはスキー合宿に参加し、ボードの楽しさを知りました。敬遠しがちな冬のスポーツをもっといろんな人に楽しんでもらえるきっかけ作りとなるサークルにしたいと思い、また、夏には体づくりとなるスポーツをし、他学年との交流を深めていくのが目的です。
27	軽音同好会	音楽学部の軽音同好会。個人スキルの向上と、自分たちの音楽を追求し、お互いに高め合うため。バンドでライブイベントなど学外でも活動していきたい。学内のイベントにも積極的に参加していきたい。
28	H . B a l l	ハンドボールを通して、様々な学部、キャンパスと交流を深める。

# クラブ・同好会紹介 (西キャンパス)

	クラブ・同好会名	活 動 内 容
1	t e n n i s u b u	テニスを通して、精神、体力を鍛え、交流の場を広げる。
2	G O N C E ス キ ー 部	スキーというスポーツを通じて部員が交流し、切磋琢磨し、冬に向け体力技術を高め合い、そこに生まれる絆、大会合宿での達成感を目的とする。
3	着 付 け 部	着付けを通して日本文化を身体で感じ取り、親しみを味わう。温故知新。
4	空 手 道 部	空手道を通じての身体能力の向上と技術習得。
5	バ ド ミ ン ト ン 部	バドミントンというスポーツをきっかけに個々の身体能力の向上を目的とする。また、年代関係なく幅広い人とコミュニケーションを取る。
6	サ ッ カ ー 部	サッカーを通じて交友関係を豊かにし、学生生活をより楽しむ。また、運動不足解消にも繋げる。
7	動 画 漫 画 研 究 部	年2回漫画を主とする部誌の発行、又同人誌即売会での部誌販売。映像等メディア作品の研究及び制作。
8	写 真 部	写真技術の向上と写真表現の研究。写真と美術、デザインに対する関わりの研究。
9	自 由 音 楽 部	自由に音楽を楽しむことを目的とし、クラブや野外でのイベント、演奏、パフォーマンスをするため、日々練習をしている。音楽で空間や気持ちを盛り上げ、自由な音を発信するクラブ。
10	軽 音 部	音楽を通じて異なる学科の学生との交流を深め、学校行事に積極的に参加し、大学生活の充実を図っている。それぞれのグループに分かれてバンド活動を行い、楽器などの上達や、人との交流を深めている。
11	卓 球 部	卓球の練習を日々頑張り、大会に出場することを目的として活動している。
12	陶 芸 部	土に触れ、物を作ることの楽しさを知り、陶芸の技術を広める。
13	サマータイムブルース(野球)	野球を通じて、社会に参加し大学生活をより充実したものにする。
14	剣 道 部	剣道を通じての学生間の交流。身体を動かし、リフレッシュする。
15	版 画 部	版画の普及、版画を選択していない学生に体験してもらう。
16	バ ス ケ ッ ト ボ ール 部	バスケットを通じ、体力づくりと健康促進を図り、仲間とのコミュニケーションを深める。
17	バ レ ー ボ ール 部	バレーボールを通して、学年学部関係なくコミュニケーションをとること。
18	演 劇 部	自分の身体と空間、舞台を使い演劇を通じて個々の表現をしていく。年に3回学内公演を行い、活動の成果と表現を訴える。同じ目的をもった仲間とコミュニケーションをとり自らの世界を豊かにする。
19	フ ォ ー ク ギ タ ー 部	ギターを弾くことによって、向上心を高め、ライブによって協調性と、一つのことをやりとげる達成感を味わう。
20	ス ト リ ー ト ダ ンス 部	ダンスを通じた全身運動。芸大祭を通して協調性を養う。
21	m & m ' s 映 画 部	映画を見ることを通じて、表現や想像力をつける。歴史や文学、世界に視野を広げているいろいろな作品を見る。
22	映 像 研 究 部	ここ数年で表現の幅が拡大している映像メディア。それを通して個人にどのような影響があり、社会にはどんな変化があるのかを研究する。又、この研究において映像制作も行う。
23	チ ェ ア ー ズ	アート、デザインの視点から「こどもと遊び」を考えることを目的としている。名古屋市港区の地域の方の協力を借り、学生の力で、地域と子ども、学生をつなぐイベントの企画運営を行う。
24	造 形 研 究 部	大学では学ぶことが難しいサブカルチャー的立体造形(特殊造形、模型、フィギュア等)の研究。および、造形に興味はあるが機会に恵まれていない学生にきっかけを与える場の提供。それらを通して造形への関心を深める為のクラブ。
25	F R E E D Y	学生による学生のための学内フリーペーパー発行を主な目的としている。取材、インタビューや撮影、デザイン、入稿など、発行するまでの仕事を経験出来、社会に出る前に多くの事を学ぶ。
26	茶 道 同 好 会	日本文化の詫びを通じ、精神集中の意を込めて活動する。
27	器 楽 ★ 声 楽 研 究 同 好 会	合唱など団体での音楽づくりを主とし、協調性を高める。音楽に触れることにより、普段の制作では味わえない感動を得る。それを個人の制作に活かすこともまた目的とする。
28	SweetCandyBoys&Girls	夏は登山、キャンプ冬はスノーボードを行い、普段はいろいろなスポーツをして体力作りに励む。山と触れ合うことで、自然の豊かさを感じることを目的とする。
29	ウインドサーフィン同好会	ウインドサーフィンを一から学び、技能の向上と、自然を感じながら身体を動かすことを楽しむ。

## TOPICS *pick up*

### 音楽学部ジャズ・ポップスコース主催 藤井 摂氏公開講座が行われました。



2011年7月21日(木)、名古屋芸術大学東キャンパス2号館で、音楽学部音楽文化創造学科ジャズ・ポップスコース主催による特別客員教授藤井 摂氏の公開講座が行われました。

藤井 摂氏は、6才でピアノ、9才からフルートを習い、マーチングバンドに参加。ギター、エレクトリックベースを習得し、15才の時にドラムスを始めました。

高校時代より、都内のライブハウス等で演奏活動を開始。1986年、アメリカのミュージカルグループ“UP WITH PEOPLE”のオーディションに合格し渡米。プロフェッショナルミュージシャンとしてのキャリアをスタートします。このグループでは1年半の世界ツアーに参加。コンサートホールやシアターの他に、教会、老人ホーム、小児病院、刑務所などでも公演を行いました。

1988年、「パークリー音楽院大学」に入学。パーカッションの他にも、作曲、アレンジ、アンサンブル、ミュージックビジネスなどを専攻。在学中よりボストンを中心としたクラブ等に出演し、オールディーズ、ジャズ、R&B、ラテン、レゲエなどのバンドで経験を積みます。

同じく在学中、日本で行われたパークリー教授陣によるセミナー“Berklee in Japan”では、'88、'89、'90年と3年連続、通訳兼アシスタントを勤めました。

1992年、同校を卒業。ニューヨークに活動の拠点を移し、ラテン音楽をはじめ様々なジャンルの音楽の中でセッションを重ね、サルサバンドではエレクトリックベースも演奏。また、ニューヨーク市立大学「シティカレッジ」で、Ron Carterのリズムセクションアンサンブルや、NYラテンシーンのアレンジャーRay Santosのラテンアンサンブルにも参加。

1996年帰国。寺井尚子、遠藤律子、中路英明オバタラ、マリン等に参加。現在は森山良子、トリアングロ、谷口英治、佐々木史郎The Boogaloo Band、中路英明ロス・マエストロス、Four Colors (井上信平、赤木りえ、城戸夕果、Steve Sacks)、井上ゆかりトリオ、Masayo、大淵博光、小野リサなど、数多くのアーティストのライブ、コンサート、レコーディングで活動中。

講座の開講は、藤井氏と名古屋芸大卒業生を中心に構成されるサポートバンドによるセッションでスタート。ジャズ・ポップスコースの野々田万照教授もサクセスで加わり、ラテン・ジャズ「Tin Tin Deo (ティン・ティン・ディオ)」を演奏しました。

今回の公開講座は、メトロノーム(クリック)を使ったリズムトレーニングのレッスンです。メトロノームを使ったトレーニング法として、表と裏のリズムのとり方のポイントやコツを、藤井氏自らがドラムを叩きレク

チャーしました。そして、「体感することが重要！」ということで、ジャズ・ポップスコースの学生の中から、各楽器の代表者がレッスンを受けました。

まずはドラムレッスンで1年生の竹田慧さんと2年の佐久間恵美さん。ベースギターは1年の松下晋開さんと3年の小伊豆悠馬さんがチャレンジ。



レッスンを受ける2年佐久間恵美さん

1年の竹田慧さんや松下晋開さんはオフビート(裏)に合わせるのに悪戦苦闘のようす。3年の小伊豆悠馬さんは裏リズムをそつなくこなし、藤井氏からお褒めの言葉をいただきました。

続いてピアノは2年の横田愛さんと佐橋拓哉さん。藤井氏から「ピアノもリズムセッションの一員です。リズムが正確じゃない人が多いので、ソリストである



レッスンに挑戦 1年水野敦大さん

前に、リズムセクションとしてのピアノを習得しましょう。」とアドバイスしました。1年の水野敦大さんはギターのレッスンに挑戦しました。



ここにブラスセクションも加わり、裏リズムのレッスンとしてハービー・ハンコックの「Cantaloupe Island (カンタロープ・アイランド)」を演奏。ピアノは2年の佐橋拓哉さんが担当し、そのまま演奏に加わりました。

続いてスイングジャズのレッスンとしてボーカルを交えて「Fly Me to The Moon(フライ・ミー・トゥー・ザ・ムーン)」を演奏。ボーカル専攻の2年の藤村堯弘さんがレッスンを受けました。裏リズムに合わせるのに手こずっているようで、藤井氏は「この練習では自分の癖が分かります」として、癖を克服するためにも、常にこの練習法を重ねることの重要性を強調されました。



ボーカル専攻2年 藤村堯弘さん

レッスン終了後には、ジャズ・ポップスコースの学生たちが藤井氏のドラムセットを囲み、藤井氏を質問攻めにしていました。藤井氏が学生の質問に丁寧に応えている姿がとても印象的でした。藤井氏は2011年度後期にも3回の公開講座が予定されています。今から楽しみですね。



## 美術学部主催 アートコレクター宮津大輔×アーティスト大庭大介 『アートとビジネス —美大生としての可能性を考える—』対談

2011年6月30日(木)名古屋芸術大学西キャンパスで、洋画2コースが主催する「THE ☆TAIDAN」が行われました。アーティストを目指して日々腕を磨く多くの名古屋芸大生にとって、アートを取り巻くビジネス環境について学ぶ機会は意外と少ないもの。しかし、将来自分の作品がアート市場で誰が、どのように評価し、その価値や価格が決定されるのか気になります。やはり、将来アーティストとして活動していくことを目標としているならば、なおのこと、アート市場やアートビジネスについて知ることを避けては通れません。今回の「THE ☆TAIDAN」では、そのアートビジネスの最前線を熟知している現代アートコレクター宮津大輔氏と東京藝術大学大学院を経て現在注目のアーティストとして活躍中の大庭大介氏の2人をゲストに迎え、アートを取り巻くビジネスシーンの現在(いま)と、美大生にとって重要な将来の選択肢についてお話を伺いました。



2011年10月にロンドンで大規模な個展を予定しているアーティスト 大庭大介氏



サラリーマンコレクターで知られる 宮津大輔氏

「現在のアート界では、コレクターという立場が世界のアートシーンに大きな影響を与えています。そういった観点からも、宮津さんのお話はとても参考になるはずですよ。」と大庭氏。

それを受けて宮津氏がアート界の構造についてレクチャーを始めます。ちょっとその前に、宮津氏の本職はコレクターではなく、IT系企業に勤めるビジネスマン。世間では“サラリーマン(現代アート)コレクター”として注目を集めています。

最初に宮津氏から「将来どの道に進みたいか」という質問が受講者に投げかけられました。

[質問]

1. アーティスト
2. 教職者
3. 会社員・公務員(一般職・専門職)
4. 事業家(個人事業主含む)

受講者の多くが1の“アーティスト”を選んだことに両氏とも目を輝かせます。「最近(安定志向で)就職希望者が多い中、皆さんがアーティストを目指しているので安心しました。攻めている感じがイイですね。」と大庭氏。そして、「現在の自分を振り返り、あるべき未来像との

ギャップを認識すれば、自ずと取り組むべき課題が見えてくるはずですよ。その課題と共に、“キャリア・アンカー”について考える機会にしましょう。」と宮津氏がコメント。更には、キャリア・アンカーについてスライドで解説。

[キャリア・アンカーとは?]

□自らのキャリアを選択する際に最も大切な(犠牲にしない)価値観や欲求。

□周囲が変化しても自己の内面で異なるもの。

—具体的なキャリア・アンカーの事例—

- ・管理能力：コミュニティの中で責任ある役割を担うこと
- ・技術的・機能的な能力：自分の専門性や技術力が高まること
- ・安全性：安定的に1つのコミュニティに属すること
- ・創造性：クリエイティブに新しいことを生み出すこと
- ・自立と独立：自分で独立すること

キャリア・アンカーを説明した上で、「今日いろいろな話を聞いて、アーティストってこういう仕事なんだ、こういう考え方なんだ！アートと社会の関係性はこういう風になっているんだ！ということを知り、アーティストになりたい人も、教職に就きたい人も、会社員になりたい人も、自分の中で絶対に動かせないもの、動かないもの、あるいは他者にはない強みは何か？について意識することが重要です。」と宮津氏は補足しました。以下、宮津氏の解説が続きます。

### アート界の役割分担

アート界の仕事、役割としては、美術館などのキュレーター(「展覧会の企画・運営」、「コレクションの収集・管理・展示」、「各種研究活動」)や教育機関で働く教育者・研究者(「教育・普及活動」、「各種研究活動」)などの他、コマース・ギャラリーのギャラリスト(「展覧会の企画・運営」、「作品の売買」)、そしてコレクター(「作品の収集」、「作品の売買」、「寄付・寄贈・寄託」)があります。ちなみに、日本にある貸画廊という制度は世界的には稀有な存在です。また、日本の美術館の多くはフランス式の運営スタイルであり、国家や自治体が運営を全面的に援助します。一方でN.Y.のMoMAのようなアメリカ型は、運営資金のほとんどを美術館や財団が個人や法人から募ります。

### アートコレクターの歴史

コレクターの変遷では、それまでの王族や貴族、ローマ法王をはじめとする宗教界のトップのみに許されたアートコレクションの世界で、イタリアのメディチ家はビジネスマン(後に政治家、元首)として初めてコレクターになった人物といわれています。また、歴史上初の本格的な女性コレクターがイザベラ・スチュアート・ガードナーです。彼女は日本美術院を作った岡倉天心をボストン美術館の東洋美術部長として援助したことで知られます。グッゲンハイム・ファミリーは、第2次世界大戦時

にナチスドイツが退廃美術として弾圧した前衛美術やユダヤ人アーティストを米国に受け入れ援助することで、米国を現代アートの中心地にした立役者です。現代では、ファッションビジネスで成功したブラダ財団など、各時代の成功者が有名コレクターとして、歴史にその名を連ねます。その中で注目したいのが、普通の市立図書館員と郵便局員であるハーバート&ドロシー・ヴォーゲル夫妻の存在です。彼らの活動は、普通の勤め人でも素晴らしいコレクションを成し、寄贈を通じて次代に貢献することが可能であることの証左です。このことは、現代が平和で民主的な世の中であることも物語っています。



宮津氏とアーティストとのコラボレーションで生まれた Dream House



大庭さんの作品は偏向パール系の絵の具を使い、見る位置によって光が移り変わり画面が変容していくのが特徴。

## アートはどこで買うのか？

アートはコマース・ギャラリーで買うことができます。コマース・ギャラリーには「プライマリー・ギャラリー」と「セカンダリー・ギャラリー」があり、プライマリー・ギャラリーはアーティストと契約して展覧会を催し、そこで新作を販売します。一方でセカンダリー・ギャラリーは、プライマリー・ギャラリーで発表・販売された後、再びマーケットに出てきた作品を販売します。大別すると、オークションと、売主から購入して販売するという2種類の方法があります。公立美術館などもコマース・ギャラリーから作品を購入しています。

## アートフェアの時代

雑誌などのインタビューで90年代と2000年代のアートの違いについて質問されることが多いという宮津氏。「90年代はギャラリーの時代。2000年代はアートフェアの時代。」と答えているとのこと。それは、アートフェアが金融の世界と結びつき、世界的に熾烈な競争が行われており、同時にマーケットを活性化させる大きな要因にもなっていることを意味しています。海外ではアートは魅力あるコンテンツとして、お金も人も集めるパワーを有しています。「アートパーゼル」などは、著名なコレクターが一堂に会する世界最高峰のフェアとして知られています。故デニス・ホッパーやジョニー・デップ、トビー・マグワイアといったハリウッドスター達もコレクターです。世界レベルでは、良質なアートを多くの富裕層が奪い合っているというのも事実です。



宮津氏のコレクションの「ガムスター」は3,000本のガムテープで出来ており、売買やその所有は、所有権の証明書とインストラクションのみ。

## オークションの仕組み

オークションの仕組みについて説明します。有名なサザビーズは75分野、年間600セールを行っています。メインセール(高価、重要な作品)とデーセール(メインセールより廉価な作品)が、5日間の下見会の後に行われます。下見会場自体が美術館と見まうばかりの空間なのにも驚かされます。大規模なものは、近年日本では開催されず、近いところでも香港まで出かける必要があります。下記のデータをご覧ください。わかるように、売る側、買う側共に手数料やその他諸費用を負担する必要があります。また、作品売却には譲渡所得税が発生します。この辺りのことも、知識として知っておくに越したことはありません。

### [オークション基礎知識]

- |  |  |
|--|--|
| 出店(売り)側<br><input type="checkbox"/> 手数料：10%<br><input type="checkbox"/> 写真掲載料、<br>作品輸送量、保険料<br><input type="checkbox"/> 落札後35日以内入金 | 落札(買い)側<br><input type="checkbox"/> 手数料：25%～<br><input type="checkbox"/> 支払：落札価格+手数料<br><input type="checkbox"/> 落札後1週間以内に支払 |
|--|--|

### [作品売却に関する税の基礎知識]

譲渡所得税(1点の売却価格が30万円以上の場合)  
 $((\text{売却価格} - \text{取得価格} \times 1) - 50\text{万円} \times 2) \div 2 \times 3$   
 ※1：取得価格不明の場合は、売却価格の5%とする  
 ※2：動産譲渡の際に認められる特別控除額  
 ※3：5年以上保有している場合は、総合長期譲渡所得として1/2となる  
 他の所得と合わせて、所得控除を差し引いた「課税総所得金額」に応じ、10～37%の累進税率をかけて計算

このように、アート市場やアートビジネスは世界規模で行われています。世界レベルの苛烈な競争とも思えるアートビジネスに身を置き、生き残っていくことは、並大抵のことではありません。そんな不安に駆られる受講生に、先輩アーティストとして、大庭氏からは「諦めない(信念と継続)」、「押してもだめなら引いてみる」、「人の3倍手を動かせ」などアドバイスがあり、勇気づけられました。そして、最後に「あなたのあるべき将来像、キャリア・アンカーについて、意識する機会になりましたか？自身の現在を認識し、美大生としての可能性を追求してください」という言葉で宮津氏は対談を締めくくりました。



受講生が提出した「現代アートとは何だ？」に目を通す両氏

## デザイン学部 2011産学協同プロジェクト 名古屋芸術大学デザイン学部 × 株式会社サイトーウッド

名古屋芸術大学デザイン学部と株式会社サイトーウッドによる2011年度の産学協同プロジェクトが6月1日よりスタートしました。

このプロジェクトは、数年前から継続しておこなわれているもので、本学デザイン学部の学生たちが、毎年のテーマに基づいて考案した作品が、数回の選考を経て、サイトーウッドの手により試作され、最終選考に残った作品が、展示会や市場調査などを経て、商品化されるものです。6月1日には、本学西キャンパスでデザイン学部の1～4年生、研究生、大学院生などを対象に、齋藤社長の紹介、会社説明、今回のテーマ発表、前回の事例、今後のスケジュール等の説明会が行われました。

今後の主なスケジュールは以下のとおりです。

- ・ 6月15日(水)  
第一次選考(スケッチ、パネル、ラフモデル等提出)
- ・ 7月13日(水)  
最終選考(図面、プロトタイプモデルで各自プレゼン)
- ・ 8月17日(水)  
試作打合せ
- ・ 9月  
最終選考から商品化に向けたプロトタイプを発表  
企業向け展示会に出展



## 人間発達学部学生が東日本大震災復興支援活動に奮闘!!

名古屋芸術大学人間発達学部の学生有志とクラブ代表が発起人となり、東日本大震災復興支援活動に奮闘しました。

この活動は、学生たち自らが、被災地の子どもたちに絵本や文具、手作りおもちゃなどを届けたいという気持ちから企画した活動です。

身近にある材料を使って、お金をかけずに愛情をかけて作成した手作りおもちゃなどが、現在もたくさん寄せられました。(写真はその一部)

本学東キャンパス1号館1階ロビーに受付を設置し回収。その後被災地へ発送。現地の子どもたちに届けていただきました。

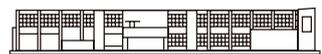


## アート&デザインセンター 2011/2012 展覧会スケジュール

2011	
4月4日(日)～4月13日(水)	デザイン学部選抜レビュー展
4月15日(金)～4月20日(水)	『不思議な人体』展
4月15日(金)～4月20日(水)	『保存温度5℃以下』展
4月15日(金)～4月20日(水)	写真部展
4月22日(金)～4月27日(水)	ひにく展
4月22日(金)～4月27日(水)	重なる視線
4月22日(金)～4月27日(水)	インスタント美術
5月6日(金)～5月11日(水)	創作折紙作品展
5月6日(金)～5月11日(水)	Hello!!! Beautiful Dreamers
5月6日(金)～5月11日(水)	右側に壁
5月13日(金)～5月18日(水)	“Resume” 大学院同時代表現 <洋画>+ 展
5月20日(金)～5月25日(水)	『peace nine 2011』
5月20日(金)～5月25日(水)	『版画コース・コレクション展』
5月27日(金)～6月1日(水)	Unnatural
6月3日(金)～6月8日(水)	『版の方法論#6～木版編～:バンコクと名古屋から』
6月3日(金)～6月8日(水)	『木版画 selection』
6月10日(金)～6月15日(水)	名古屋芸術大学教員展
6月17日(金)～7月6日(水)	2011年度夏の企画展 浅葉克己 U.G.サトー 松永真 「3人のポスター」展
7月8日(金)～7月13日(水)	洋画2コース選択展覧会
7月8日(金)～7月13日(水)	2011年度 前期交換留学生作品展
7月15日(火)～7月20日(水)	洋画1コース3年展
7月22日(金)～8月3日(水)	素材展
9月16日(金)～9月28日(水)	2011年度秋の企画展 『ネーデルランド・ナウ2011:リーヴェン・ヘンドリクス×満江英典』展
9月30日(金)～10月5日(水)	ソフトスカルプチュアへ12展
10月7日(金)～10月12日(水)	アーツ! ラジオ a" a a r t R A D I O ! 展
10月14日(金)～10月19日(水)	『Hand Hospeace:医療と美術』展
10月14日(金)～10月19日(水)	「DRAWING SESSION: Seika×Meigei」(仮)
10月21日(金)～10月26日(水)	JAGDAサンデースクール
10月28日(金)～11月2日(水)	名古屋芸術大学大学院 洋画制作展 2011
11月11日(金)～11月16日(水)	彫塑コース作品展
11月11日(金)～11月16日(水)	歌を絵にするー授業作品展ー
11月18日(金)～11月23日(水・祝)	『遭遇するドローイング:ハノーファー&名古屋2011』展
11月25日(金)～11月30日(水)	MCD department
12月2日(金)～12月7日(水)	2011年度 後期交換留学生展
12月2日(金)～12月7日(水)	『幼稚園児たちのゲイジツ』展
12月9日(金)～12月14日(水)	メディアデザインコース作品展 2011
12月16日(金)～12月21日(水)	工芸領域 2・3年生展
2012	
1月6日(金)～1月11日(水)	日本画3年作品展
1月13日(金)～1月18日(水)	美術学部コース展
1月20日(金)～1月25日(水)	『AFTER DENMARK:石田典子+伊藤里佳』展
未定	卒業制作展
3月23日(金)～4月25日(水)	デザイン学部 レビュー選抜展

◎スケジュールは変更になる場合がありますので、事前の確認をお願いいたします。

### Art & Design Center



名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市長重西沼65番地 tel.0568-24-0325 tel/fax.0568-24-2897

# 後援会学費貸付事業

長引く不況の中にあつて、東日本大震災が追い打ちをかけるように起こりました。こうした厳しい状況の中、保護者が亡くなられたり、病気や失業されたりした家庭は大変だと思います。こういったことに対して少しでも助けになればと始められたのが、この学費貸付事業です。1993年に始まってから、現在まで80名弱の学生が利用しています。

後援会の皆さんの会費を基金にしているため、貸付を受けるにはいくつかの条件があります。平成23年度からは最高学年在学者を対象とするよう運用を変更いたしました。本規程をお読みいただき学費貸付事業を活用していただけたらと思います。申込み受付窓口は各キャンパス学生支援課となっております。気楽に相談してみてください。

## 名古屋芸術大学後援会学費資金等の貸付規程

### (目的)

第1条 名古屋芸術大学後援会(以下「後援会」という。)が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

### (定義)

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学後援会学費貸与生(以下「貸与生」という。)と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学後援会貸付金とする。

### (資金)

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。  
 (1)後援会学費貸付口座預金  
 (2)この規程に基づく返還金  
 (3)寄付金・その他の収入

### (貸付額)

第4条 該当学年の学生納付金半期分以内とする。  
 2 貸付金は無利息とする。  
 3 未返済金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

### (貸付方法)

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

### (審議)

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

### (貸与生の決定)

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

### (貸与生の選考基準)

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。  
 (1) 1年以上継続した本会会員の子弟であること。  
 (2) 家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。  
 (3) 応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。  
 (4) 修学に十分耐うるものと認められること。

### (申請手続)

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。  
 なお、手続は学生部教務学生課を窓口とする。

(1) 後援会貸付金借用願

(2) 貸付金返済計画書

(3) 学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書

(4) 学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

### (借用手続・借用証書)

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1) 借用証書(借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する)
- (2) 貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3) 銀行口座振替依頼書(自動送金サービス用)(学籍を離れる時に提出するものとする)

### (返還及期間)

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。  
 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。  
 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。  
 4 返還は、学生部教務学生課を窓口とする。

### (返還猶予)

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

### (権限委任)

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

### (改廃)

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

### 附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

## 名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。  
 (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。  
 (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。  
 (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。  
 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名。
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。  
 (1) 役員は総会において会員の中から選出する。  
 (2) 書記、会計は役員の中から会長が委嘱する。  
 (3) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任務は次の通りとする。  
 (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐、会長事故ある時はその代理をする。  
 (2) 監事は会務を監査する。  
 (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合は臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。  
 (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。  
 (2) 会則の改定、会の解散に関すること。  
 (3) 役員を選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第14条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。
- 第15条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第16条 本会則の運営に必要な事項は役員会の議を経て会長が定める。
- 附則 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。  
 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し、即実施する。  
 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。

### 名古屋芸術大学後援会の弔意に関する内規

1. 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
2. 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
3. 役員2親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
4. 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
5. この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、2006年6月1日より施行する。

### 名古屋芸術大学後援会顧問の委嘱に関する内規

1. 名古屋芸術大学の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
2. 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
3. この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年（平成17年）4月1日から適用する。

# 学校法人名古屋自由学院決算報告

## 平成22年度 消費収支計算書

(単位：千円 四捨五入)

科 目	21 年 度	22 年 度	前年度比較
<b>消費収入の部</b>			
学生生徒等納付金	4,036,261	4,032,853	△3,408
手数料	57,144	55,423	△1,721
寄付金	7,332	11,641	4,308
補助金	405,681	462,727	57,046
雑収入等	174,339	257,613	83,274
A 帰 属 収 入 計	4,680,757	4,820,256	139,499
基 本 金 組 入 額	△100,000	△353,491	△253,491
B 消費収入の部合計	4,580,757	4,466,766	△113,992
<b>消費支出の部</b>			
人件費	2,971,595	2,915,453	△56,142
教育研究経費	1,411,868	1,449,235	37,367
管理経費	406,273	440,082	33,809
借入金等利息他	7,692	64,623	56,931
C 消費支出の部合計	4,797,429	4,869,393	71,964
B - C 消費収支差額	△216,672	△402,627	△185,956
A - C 帰属収支差額	△116,672	△49,137	67,535

消費収入の部では、学生生徒等納付金が、40億3,200万円となり前年度より340万円減少しましたが、ほぼ横ばいでした。補助金は、特別補助金と施設整備、研究設備補助金の交付があったことから、5,700万円増加し、4億6,200万円でした。雑収入等その他収入は、退職財団交付金が増加したため、8,300万円増加し、2億5,700万円となりましたが、基本金組入額が2億5,300万円増加したことから、消費収入の部合計は44億6,600万円となり、前年度より1億1,400万円減少しました。

次に消費支出の部では、人件費が29億1,500万円と前年度と比べ、5,600万円減少しました。教育研究経費は、前年度と比較し3,700万円増加し、14億4,900万円、管理経費は、3,400万円増加し、4億4,000万円となりました。消費支出の部合計は48億6,900万円となり、7,200万円の増加となりました。

以上の結果、消費収支差額は4億200万円の支出超過、帰属収支差額も4,900万円の支出超過となりました。

## 平成22年度 貸借対照表

(単位：千円 四捨五入)

科 目	22年3月31日現在	23年3月31日現在	前年度比較
<b>資産の部</b>			
固定資産	16,363,572	16,475,525	111,953
流動資産	3,740,114	3,521,461	△218,653
計	20,103,686	19,996,986	△106,700
<b>負債・基本金・消費収支差額の部</b>			
固定負債	706,021	608,348	△97,673
流動負債	1,101,170	1,141,280	40,110
基本金	20,259,908	20,613,398	353,491
消費収支差額	△1,963,412	△2,366,039	△402,627
計	20,103,686	19,996,986	△106,700

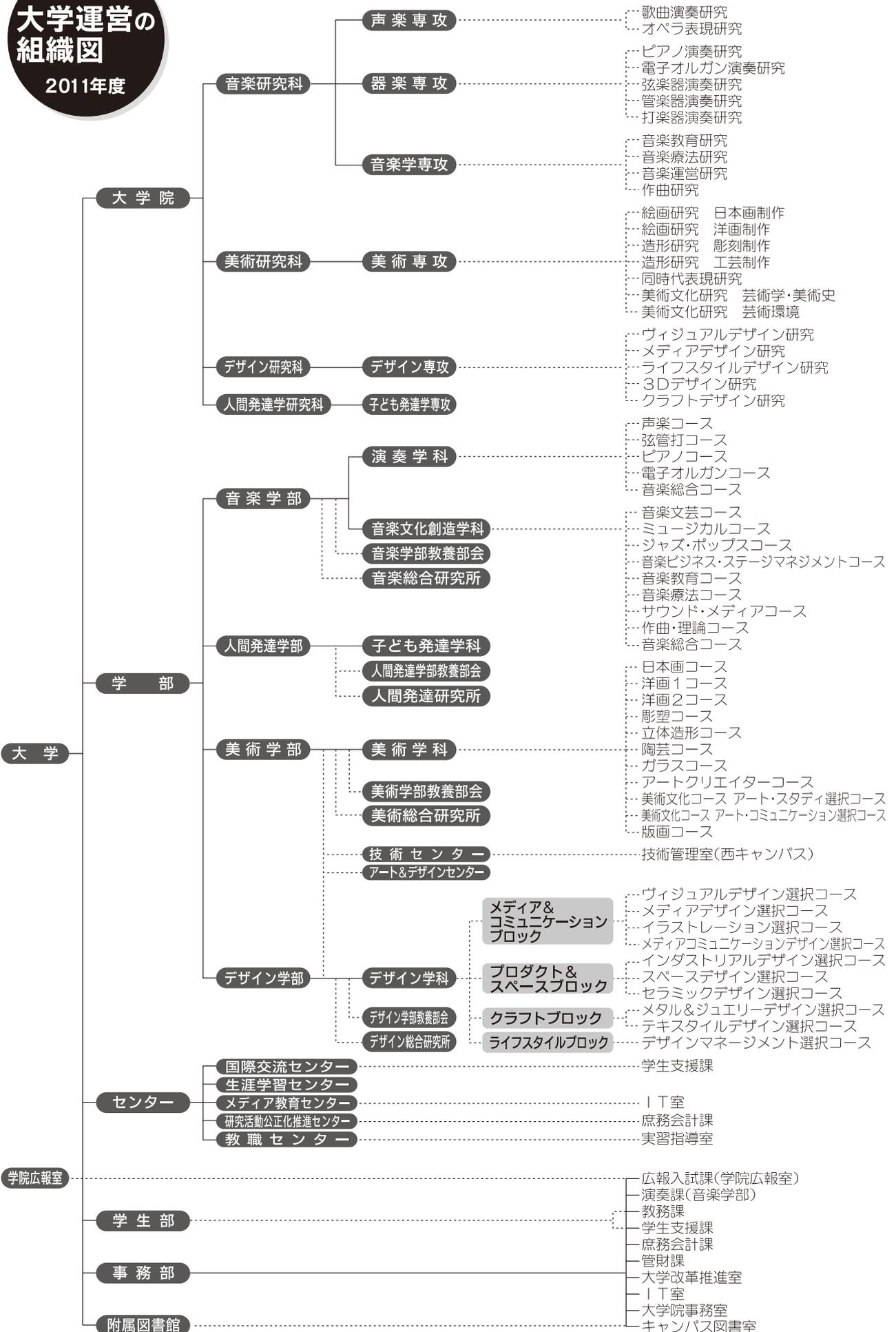
資産の部計は199億9,700万円で前年度末に比べ1億600万円減少しています。

負債の部計は17億4,900万円で前年度末に比べ5,700万円の減少です。

消費収支差額の部は23億6,600万円の支出超過となりました。

## 大学運営の組織図

2011年度



## 「木祖セミナーハウス」をご利用ください

### 利用目的

木祖セミナーハウスは、共同生活を通じて相互の理解を深め、親睦を図るとともにスポーツや自然と親しむといった福利厚生を目的としています。主にセミナー・合宿等の学校行事、教職員の研修の場として利用する他、厚生宿泊施設として利用できます。



### 利用できる方

- ① 本学院傘下の学校の学生・生徒（生涯学習等含む）及び園児及びその家族
- ② 本学院の教職員（退職者及び非常勤講師・非常勤職員を含む）及びその家族
- ③ 本学院傘下の学校を卒業・卒園した方及びその家族
- ④ ①～③に掲げる利用者から紹介された者で、管理責任者が特に利用を認めた者
- ⑤ その他、木祖村の行事等で管理責任者が特に利用を認めた者

### 利用期間

通年（但し、9月の第2土・日曜日及び12月30日の宿泊から1月2日までは休業）  
※また、本学院の都合により、その他の日に臨時休業する場合があります。

### 施設利用料

1泊1名分の利用料は次のとおりです。（食事代は含みません。）

①	②	③	④	⑤	⑥
本学院の園児 （〃卒園で中学生 以上の方）	本学院の 学生・生徒 （〃卒業生）	本学院の教職員 及び退職者 （引率出張）	①～③の家族	①～④の紹介	木祖村の行事等 関係者 （教育目的利用を含む）
500円 (2,000円)	1,000円 (2,000円)	1,500円 (該当学生等と同額)	2,000円	5,000円	2,000円

※④～⑥の利用者の同伴者で、3歳から小学校6年生までは各利用者の半額、2歳までは無料

※宿泊を伴わないセミナー室のみの利用 1日/8,000円 半日/5,000円

#### ●食事の予約について

食事希望の方は予約が必要です。{1名分 朝食500円 夕食1,500円(小学生以下750円)}

バーベキュー：7月～9月までの限定。料金1,800円(小学生以下1,500円)

(施設利用人数が多い場合、設備の関係上バーベキューの要望に応じられない場合があります。)

### 問い合わせ・申し込み先

下記へ電話で仮予約をしてください。その後の手続きは、その時にご説明します。

〈学校法人名古屋自由学院 法人事務局総務部総務課 TEL: 0568-24-0311〉

### 交通アクセス

所在地：〒399-6203 長野県木曾郡木祖村小木曾4793 TEL & FAX: 0264-36-2570

#### ◆自家用車利用の場合

①中央自動車道中津川インターより国道19号約90分 管交差点より村道約15分

②中央自動車道伊那インターより国道316号(権兵トンネル)經由国道19号約30分 管交差点より村道約15分

#### ◆公共交通機関を利用する場合

JR中央西線 藪原駅下車

①村内巡回バス(10月～3月の土・日・祝祭日は運休) バス停「辺見屋敷」又は「スキー場」下車 徒歩15分～20分

②タクシー利用約15分 やぶはらタクシー(要予約 TEL: 0264-36-2403)

### 周辺の施設・観光地

・こだまの森(テニス、プール、パターゴルフ、多目的運動場、バーベキューハウス、巨大迷路、溪流釣り等)

・やぶはら高原スキー場

### 編集後記

今年には日本を揺るがす東日本大震災が発生し、日本中が悲しくつらい出来事がありました。さらに、異常気象、原発の問題も山積で、先の見えない事態が続いています。そんな中でも、大震災のボランティア活動、寄付など、日本をはじめ世界各国の方々の心優しい気持ちに皆さん感動しましたよね。

もちろん名芸でも、学生たちが率先して募金活動など、頑張ってくれました。そうやって少しずつ前へ進みかけて頑張っている中、「なでしこジャパン」の快挙!!!すばらしかったですね。私たちも負けずに、一步一步少しずつ前に向かって歩いていきましょう。

広報委員長 白井貴子

- ◆発行 名古屋芸術大学後援会  
〒481-8503  
愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地  
TEL. 0568-24-0315 FAX. 0568-24-0317
- ◆編集 名古屋芸術大学後援会 広報委員会
- ◆表紙デザイン  
本学デザイン学科卒業生 武藤理恵子
- ◆封筒デザイン  
本学デザイン学科卒業生 福見光洋
- ◆発行日 2011年(平成23年)9月30日

